

# 令和元年度定時社員総会

期 日 令和元年6月23日（日）

場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター  
研修室 4

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会



【第1号議案】

# 平成30年度事業報告及び決算報告

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで



平成30年度事業報告

都道府県協会並びに関係諸団体・組織との連携・協力のもと、ウエイトリフティング競技の発展と普及を図るため各種事業を実施した。

中・長期計画を、選手強化、競技人口の拡大、国際レベルの競技運営能力、国際発信力の向上並びに財政の確立の面から策定し、2020年東京オリンピック大会では万全の態勢で臨めるように段階的に計画した。

第32回オリンピック競技大会（2020/東京）での男女のメダル獲得並びに入賞を目標に国立スポーツ科学センターとの連携と味の素ナショナルトレーニングセンターの活用のもと、オリンピック強化戦略プランに基づいた選手強化を計画し実行した。また、東京オリンピック参加枠（最大4名）獲得のため後期より参加資格大会に参加している。また、11月より国際ウエイトリフティング連盟は男子・女子共に10階級の新階級を実施した（日本では2019年1月より実施）

また、各競技運営面では東京で行われた2016年アジアジュニア・ユース選手権大会及び2017年世界ジュニア選手権大会開催の経験を活かし、各大会での競技力・運営能力・国際ルールへの対応を行った。

恒久的にオリンピック競技大会で活躍できる選手を育成するため、ナショナルトレーニングシステム（競技者育成プログラム）の充実を図り、2024年パリ・2028年ロサンゼルスオリンピック大会対策も考え、強化合宿及び大会派遣等も行った。

財政の確立については、スポンサーの協力により運営費、強化費が増加した。また、ガバナンスの向上に努め社会的責任を自覚し、公益社団法人としての使命を果たしている。

本年度実施した事業について以下に報告いたします。

【公益事業】

I. 競技力向上事業

1. 選手強化事業

競技者が人間の可能性の極限を追求し、国内外の競技会等で活躍することは、国民に誇りや喜び、夢と感動をもたらすと同時に競技の普及・振興に寄与するものである。この目的達成のために、以下の選手強化及び指導者育成に取り組んだ。また、スポーツ医科学の面から支援する必要があるため、国立スポーツ科学センターの各種サポートを活用し効果的な事業を実施した。

(1) 国内合宿

公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、強化拠点である「味の素ナショナルトレーニングセンター専用練習場」を中心に、国際競技力の向上を目標に実施した。

また、2020年東京オリンピック対策および2024年パリ・2028年ロサンゼルスオリンピック対策として、ナショナル及び次世代アスリート育成の強化事業を実施した。

No.	合 宿 名	期 間	指導者数	選手数	場 所
	<b>【通年合宿】</b>				
1	国内合宿 1 (4月通年合宿 男女)	4/01～4/30	3名	1名	東京都 NTC
2	国内合宿 2 (5月通年合宿 男女)	5/01～5/31	3名	1名	東京都 NTC
3	国内合宿 3 (6月通年合宿 男女)	6/01～6/30	3名	3名	東京都 NTC
4	国内合宿 4 (7月通年合宿 男女)	7/01～7/31	4名	2名	東京都 NTC
5	国内合宿 5 (8月通年合宿 男女)	8/01～8/31	3名	2名	東京都 NTC
6	国内合宿 6 (9月通年合宿 男女)	9/01～9/30	3名	1名	東京都 NTC
7	国内合宿 7 (10月通年合宿 男女)	中止			
8	国内合宿 8 (11月通年合宿 男女)	11/01～11/30	3名	1名	東京都 NTC
9	国内合宿 9 (12月通年合宿 男女)	12/01～12/31	3名	1名	東京都 NTC
10	国内合宿 10 (1月通年合宿 男女)	1/01～1/31	6名	7名	東京都 NTC
11	国内合宿 11 (2月通年合宿 男女)	2/01～2/28	6名	7名	東京都 NTC
12	国内合宿 12 (3月通年合宿 男女)	3/01～3/31	3名	1名	東京都 NTC

No.	合 宿 名	期 間	指導者数	選手数	場 所
<b>【ナショナル合宿】</b>					
1	国内合宿 1 (ナショナル合宿 男子)	4/04~ 4/21	4名	13名	東京都 NTC
2	国内合宿 2 (ナショナル合宿 女子)	4/05~ 4/21	4名	11名	東京都 NTC
3	国内合宿 3 (ナショナル合宿 女子)	4/29~ 5/12	5名	6名	東京都 NTC
4	国内合宿 4 (ナショナル合宿 男子)	5/07~ 5/23	4名	8名	東京都 NTC
5	国内合宿 5 (ナショナル合宿 女子)	6/10~ 6/21	6名	9名	東京都 NTC
6	国内合宿 6 (ナショナル合宿 男子)	6/11~ 6/23	3名	9名	東京都 NTC
7	国内合宿 7 (ナショナル合宿 男子)	7/04~ 7/11	3名	11名	東京都 NTC
8	国内合宿 8 (ナショナル合宿 男子)	7/11~ 7/21	3名	8名	北海道 士別市
9	国内合宿 9 (ナショナル合宿 女子)	7/12~ 7/26	4名	7名	新潟県 津南町
10	国内合宿 10 (アジア競技大会代表合宿 女子)	7/26~ 8/15	6名	11名	東京都 NTC
11	国内合宿 11 (アジア競技大会代表合宿 男子)	8/02~ 8/15	5名	12名	東京都 NTC
12	国内合宿 12 (2018世界選手権大会候補合宿 女子)	中止			
13	国内合宿 13 (2018世界選手権大会候補合宿 男子)	9/17~10/02	3名	4名	東京都 NTC
14	国内合宿 14 (2018世界選手権大会秋代表合宿 男子)	10/11~10/29	8名	10名	東京都 NTC
15	国内合宿 15 (2018世界選手権大会代表合宿 女子)	09/30~10/29	7名	10名	東京都 NTC
16	国内合宿 16 (ナショナル合宿 男子)	12/10~12/18	4名	5名	東京都 NTC
17	国内合宿 17 (ナショナル合宿 女子)	中止			
18	国内合宿 18 (カタールカップ事前合宿)	12/15~12/17	4名	6名	東京都 NTC
19	国内合宿 19 (ナショナル合宿 女子)	01/08~01/20	5名	6名	高知県 高知市
20	国内合宿 20 (ナショナル合宿 男子)	01/08~01/18	3名	7名	沖縄県 国頭村
21	国内合宿 21 (ナショナル合宿 男子)	01/18~01/26	4名	5名	東京都 NTC
22	国内合宿 22 (ナショナル合宿 男女)	02/04~02/23	8名	13名	東京都 NTC
23	国内合宿 23 (ナショナル合宿 女子)	03/04~03/23	4名	11名	東京都 NTC
24	国内合宿 24 (ナショナル合宿 男子)	03/04~03/23	6名	11名	東京都 NTC

No.	合 宿 名	期 間	指導者数	選手数	場 所
<b>【次世代アスリート育成合宿】</b>					
1	国内合宿 1 (アジアユース代表合宿 男女)	4/15~ 4/18	5名	9名	東京都 NTC
2	国内合宿 2 (世界ジュニア代表合宿 男女)	5/01~ 5/06	5名	10名	東京都 NTC
3	国内合宿 3 (世界ジュニア選手権代表合宿 男女)	6/29~ 7/04	5名	11名	東京都 NTC
4	国内合宿 4 (日韓中ジュニア交流会事前合宿 男女)	8/20~ 8/22	6名	15名	東京都 NTC
5	国内合宿 5 (世界大学選手会代表合宿 男女)	9/14~ 9/17	4名	12名	東京都 NTC
6	国内合宿 6 (ユースオリンピック代表合宿 男女)	9/29~ 9/30	1名	1名	東京都 NTC
7	国内合宿 7 (中学選抜合宿 男女)	10/13~10/14	15名	15名	東京都 NTC
8	国内合宿 8 (2018世界ジュニア選手権候補合宿 男女)	1/06~ 1/13	7名	11名	東京都 NTC
9	国内合宿 9 (中学選抜合宿 男女)	1/26~ 1/27	15名	15名	東京都 NTC
10	国内合宿 10 (次世代育成合宿 男子)	2/17~ 2/28	4名	9名	静岡県 下田市
11	国内合宿 11 (次世代育成合宿 女子)	2/12~ 2/24	4名	9名	静岡県 清水市
12	国内合宿 12 (次世代育成合宿 女子)	3/11~ 3/22	5名	10名	石川県 金沢市
13	国内合宿 13 (次世代育成合宿 男子)	3/17~ 3/22	2名	5名	静岡県 清水市

(2) 海外合宿

① 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、国際力（国際人の養成）及び国際競技力の向上を目標に実施した。

合宿名 : 大学生海外合宿（米国）  
期 間 : 平成31年2月10日～2月26日  
場 所 : アメリカ合衆国ルイジアナ州立大学シュリーブポート校  
参加者 : 指導者2名 岡田純一、加藤智子  
選 手6名 駒田凌一、吉田旭、永井香帆、葛原麻結、紙屋十磨、  
荒木晴江

(3) 外国チームとの合同合宿

① 公益財団法人日本オリンピック委員会及び韓国・国民生活体育会との共催事業であり、次代を担う若手選手の育成と国際交流の促進を目的に、公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、次のとおり実施した。

合宿名 : 日韓競技力向上スポーツ交流事業（派遣）  
期 間 : 平成30年10月22日～10月27日  
場 所 : 大韓民国 コヤン市  
参加者 : 指導者5名、選手15名（男子8名、女子7名）、計20名  
合宿名 : 日韓競技力向上スポーツ交流事業（受入）  
期 間 : 平成30年12月2日～12月7日  
場 所 : 日本開催 大分県国東市アグリホール  
参加者 : 指導者（日本5名、韓国5名）選手（日本14名、韓国15名）計39名

(4) 国際競技会への派遣

国際競技力の評価は、国際競技会での成績が中心となる。本会は、恒久的オリンピック選手育成の観点（一定レベルの競技力を有する）から年代別の競技会に優秀選手を派遣し競技力の向上に努めた。

JOCのチーム派遣事業として、次の大会へ選手・指導者を派遣した。

① アジアユース選手権大会「次世代アスリート育成事業」

開催期間 : 平成30年4月23日～4月30日  
派遣期間 : 平成30年4月20日～5月1日  
場 所 : ウズベキスタン共和国 ウルゲンチ市  
派遣人数 : 指導者 6名 川畑勉、園家恭一、浅田久美、可児暢也、柏木悠里  
男子選手2名 大西裕也、水口雅基  
女子選手7名 山下笑佳、武藤理恵瑠、可児 遥、安藤千鈴、  
橋本 董、吉武温子、中島一馨 計15名

[男子]

	1位		2位		3位		4位		5位		6位		7位		8位	
階級	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録
50kg級	VIE	220	TKM	188	IND	166	KGZ	160	KGZ	155	KSA	148				
56kg級	VIE	258	IND	250	IND	243	KOR	222	PHI	221	UZB	219	VIE	218	TKM	209
62kg級	TKM	243	UZB	242	IND	239	TPE	235	KOR	235	TKM	232	THA	222	KSA	207
69kg級	VIE	275	IND	274	UZB	273	UZB	271	TKM	268	IRI	263	KSA	259	IRI	255
77kg級	UZB	309	THA	277	TKM	271	TKM	270	TPE	255	KSA	233	KGZ	210	KGZ	210
85kg級	UZB	291	KSA	284	KOR	280	IRI	279	JPN	273	IND	269	TPE	255		
94kg級	TPE	312	IRI	311	IRI	289	KGZ	286	KOR	276	IND	262	IND	238		
+94kg級	IRI	330	UZB	318	IRI	314	KOR	308	TPE	282	KSA	257	NEP	215		

[女子]

階級	1位		2位		3位		4位		5位		6位		7位		8位	
	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録
44kg級	UZB	148	VIE	144	VIE	140	PHI	138	IND	136	JPN	130	JPN	128	TPE	120
48kg級	VIE	161	UZB	146	IND	145	JPN	144	VIE	144	IND	140	TPE	138	JPN	135
53kg級	PRK	197	TPE	171	TPE	170	IND	164	PHI	153	IND	151	KOR	146	MGL	105
58kg級	PRK	208	UZB	165	IND	164	KOR	156	TKM	135	IRI	102				
63kg級	UZB	217	THA	194	JPN	178	TPE	147	IRI	143	TKM	134	KGZ	132	MGL	127
69kg級	PRK	214	UZB	186	JPN	181	SYR	170	TPE	167	IND	160	MGL	155	IRI	102
75kg級	UZB	224	JPN	189	TPE	179	IND	167	MGL	130						
+75kg級	UZB	220	KOR	207	UZB	200	TPE	192	TKM	166	MGL	134	IRI	109		

[日本男子成績]

階級	氏名	S 1	S 2	S 3	C & J 1	C & J 2	C & J 3	T	順位
56kg級	大西裕也	87	90	93	110	115	115	208	9位
85kg級	水口雅基	115	120	123	145	150	153	273	5位

[男子団体]

※ユースオリンピック出場団体戦

1位	UZB	539点	1位	TKM	151点	1名	枠獲得
2位	IND	531点	2位	IND	144点	1名	枠獲得
3位	TKM	491点	3位	KSA	139点	1名	枠獲得
4位	IRI	481点	4位	KGZ	134点	1名	枠獲得
5位	KGZ	438点	5位	VIE	125点		以下獲得なし
6位	TPE	424点	6位	KOR	123点		

[日本女子成績]

階級	氏名	S 1	S 2	S 3	C & J 1	C & J 2	C & J 3	T	順位
44kg級	山下笑佳	58	61	64	69	69	72	130	6位
44kg級	可児遥	56	56	56	68	72	75	128	7位
48kg級	安藤千鈴	58	60	62	75	78	78	135	8位
48kg級	武藤理恵瑠	63	66	68	78	81	81	144	4位
63kg級	橋本 堇	77	81	81	95	99	101	178	3位
69kg級	吉武温子	80	83	84	93	97	100	181	3位
75kg級	中島一馨	80	82	86	103	103	107	189	2位

[女子団体]

※ユースオリンピック出場団体戦

1位	UZB	623点	1位	日本	154点	1名	枠獲得
2位	TPE	515点	2位	TPE	151点	1名	枠獲得
3位	IND	510点	3位	IND	150点	1名	枠獲得
4位	JPN	452点	4位	MGL	123点	1名	枠獲得
5位	MGL	336点	5位	KOR	93点		以下獲得なし
6位	PRK	305点	6位	TKM	88点		

② 世界ジュニア選手権大会「次世代アスリート育成事業」

開催期間 : 平成30年7月7日～7月14日

派遣期間 : 平成30年7月4日～7月15日

場 所 : ウズベキスタン共和国 タシケント市

派遣人数 : 指導者 4名 新井健一、岡田純一、山田純子、羽藤辰雄、細川翔平  
男子選手6名 久保海斗、平井海斗、木村勇喜、山根大地、宍戸大輔  
川村正輝、(横山太偉雅辞退)

女子選手5名 鈴木梨羅、武藤理恵瑠、井崎芽夏、橋本堇、戸田妃乃子

[男子成績]

階級	1位		2位		3位		4位		5位		6位		7位		8位	
	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録
56kg級	VIE	266	COL	254	VIE	249	KOR	249	日本	241	THA	234	日本	230	ROU	226
62kg級	UZB	295	GER	278	ECU	277	THA	266	EGY	263	INA	262	TUR	261	FRA	258
69kg級	USA	316	ROU	309	TUR	306	THA	303	TUR	292	IND	291	日本	290	COL	288
77kg級	LAT	336	IRI	326	ARM	324	POL	317	UZB	311	ALG	310	INA	309	DEN	306
85kg級	GEO	356	EGY	350	USA	349	POL	348	GEO	344	IRI	341	COL	340	CAN	334
94kg級	QAT	385	COL	374	ARM	361	IRI	353	IRQ	347	KSA	338	GER	335	CAN	332
105kg級	GEO	382	UZB	369	EGY	360	IRI	356	AUT	352	IRI	345	USA	334	TPE	332
+105kg級	IRI	419	ARM	399	PAK	399	TPE	358	EGY	357	IRI	354	POL	352	TUR	342



[日本男子成績]

階級	氏名	S 1	S 2	S 3	C & J 1	C & J 2	C & J 3	T	順位
56kg級	平井海斗	97	101	105	131	136	141	241	5位
56kg級	久保海斗	95	98	101	125	129	133	230	7位
62kg級	木村勇喜	110	110	113	133	136	136	243	13位
69kg級	山根大地	125	130	134	153	156	160	290	7位
77kg級	宍戸大輔	127	131	132	158	—	—	285	12位
+105kg級	川村正輝	135	140	145	175	181	186	331	10位

[男子団体]

1位	IRI	512点	3位	TUR	411点	5位	POL	327点
2位	UZB	436点	4位	USA	407点	6位	COL	308点
7位	日本	304点						

[女子成績]

階級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
階級	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録
48kg級	THA 181	BRA 172	IND 167	THA 166	日本 164	PER 164	INA 163	USA 163
53kg級	THA 197	USA 193	COL 188	GBR 164	ECU 159	UZB 146		
58kg級	LAT 219	TUN 198	CAN 197	THA 196	COL 195	TUR 192	ROU 188	ESP 184
63kg級	UZB 214	EGY 207	TUN 206	THA 201	TUR 200	ROU 199	TKM 195	PER 194
69kg級	EGY 238	USA 225	COL 223	CAN 204	ROU 203	CAN 195	ESP 195	UZB 191
75kg級	ECU 255	USA 220	UZB 212	TUR 208	THA 207	ISR 205	UZB 203	INA 203
90kg級	UZB 225	USA 224	AUT 224	TUR 214	ECU 212	KOR 209	THA 201	TPE 185
+90kg級	KOR 274	ECU 256	NRU 245	USA 234	USA 231	POL 229	TPE 216	TUR 215

[日本女子成績]

階級	氏名	S 1	S 2	S 3	C & J 1	C & J 2	C & J 3	T	順位
48kg級	鈴木梨羅	65	67	69	89	92	95③	164	5位
48kg級	武藤理絵瑠	63	66	69	80	80	87	146	12位
53kg級	井崎芽夏	69	69	70	85	90	93	—	—
63kg級	橋本 董	75	75	75	95	98	98	—	—
69kg級	戸田妃乃子	80	80	84	100	107	107	180	11位

[女子団体]

1位	USA	502点	2位	THA	481点	3位	UZB	479点
4位	TUR	458点	5位	ECU	334点	6位	TPE	308点
13位	日本	180点						

③ 世界大学選手権大会「次世代アスリート育成事業」

開催期間 : 平成30年9月20日～9月25日

派遣期間 : 平成30年9月16日～9月27日

場 所 : ポーランド国 ピアラポドラスカ市

派遣人数 : 指導者 5名 加藤智子、新井健一、細川翔平、殿村康

男子選手5名 久保海斗、知念勇斗、益子広幸、原勇輝、野中雅浩

女子選手7名 鈴木梨羅、伊良皆理恵、山村侑生、眞柄朱里、山本真鼓

石井未来、栗野稚佳子 計17名

[男子成績]

階級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
階級	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録
56kg級	JPN 229	JPN 225	KOR 224	USA 208				
62kg級	JPN 259	TPE 253						
69kg級	TPE 273	POL 267	CAN 259	USA 258				
77kg級	SRB 309	JPN 303	CAN 300	TPE 297	CZE 286	USA 280	CZE 276	POL 275
85kg級	KOR 331	POL 309	USA 307	CZE 294	USA 293	AUS 265	MLT 254	
94kg級	TPE 351	THA 323	POL 315	TPE 314	POL 310	SVK 304	ESP 303	DEN 296
105kg級	GER 338	USA 335	TPE 333	AUT 332	POL 330	USA 328	CZE 307	POL 303
+105kg級	SRB 388	JPN 382	TPE 370	MEX 329	POL 305			

## 〔日本男子成績〕

階級	氏名	S 1	S 2	S 3	C & J 1	C & J 2	C & J 3	T	順位
56kg級	知念勇斗	95	98	101	125	128	133	229	1位
56kg級	久保海斗	95	99	100	122	125	132	225	2位
62kg級	益子広幸	110	114	119	138	141	145	259	1位
77kg級	原 勇輝	131	135	138	168	175	175	303	2位
+105kg級	野中雅浩	160	165	171	206	217	224	382	2位

## 〔女子成績〕

階級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
階級	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録
48kg級	JPN 161	USA 157	JPN 144	FRA 136				
53kg級	MEX 172	USA 168	FRA 166	GBR 165	TPE 163	USA 162	GBR 160	POL 157
58kg級	USA 189	POL 182	JPN 178	JPN 177	CAN 176	GER 174	POL 170	GBR 162
63kg級	CAN 226	AUS 202	TPE 198	GER 195	ESP 189	USA 184	FRA 179	ESP 177
69kg級	USA 204	JPN 203	CAN 196	TPE 193	CZE 191	MLT 187	AUT 186	AUS 182
75kg級	TPE 208	SVK 205	SUI 203	USA 202	CZE 180	POL 179	POL 176	
90kg級	BEL 218	TPE 204	TPE 203	NZL 193	MGL 191	SVK 150		
+90kg級	KOR 239	MEX 228	JPN 219	POL 188				

## 〔日本女子成績〕

階級	氏名	S 1	S 2	S 3	C & J 1	C & J 2	C & J 3	T	順位
48kg級	鈴木莉羅	65	68	71	86	90	93	161	1位
48kg級	伊良皆理絵	58	58	60	80	83	84	144	3位
58kg級	真柄朱里	79	79	82	97	99	99	188	3位
58kg級	山村侑生	76	79	81	98	100	100	177	4位
63kg級	山本真鼓	80	80	80	105	108	110	-	-
69kg級	石井未来	87	89	90	108	110	113	203	2位
+90kg級	栗野稚佳子	91	97	97	117	122	127	219	3位

## 【団体男子】

1位	TPE 5 3 8	2位	POL 5 1 2	3位	USA 4 5 7
4位	日本 3 8 6	5位	CZE 2 3 9	6位	CAN 1 6 6

## 【団体女子】

1位	TPE 5 2 2	2位	USA 5 1 7	3位	POL 4 5 6
4位	日本 4 5 3	5位	SVK 2 4 4	6位	FRA 2 3 7

## ④ 世界選手権大会 (男子) 「NF強化事業」 (東京オリンピック参加資格大会)

開催期間 : 平成30年11月 1日～11月10日

派遣期間 : 平成30年10月27日～11月12日

場 所 : トルクメニスタン共和国 アシガバット市

派遣人数 : 指導者4名 小宮山哲雄、堀越典昭、山田政晴、細川翔平

選手10名 糸数陽一、高尾宏明、近内三孝、宮本昌典、五百蔵正和、笠井武広、山本俊樹、田中太郎、白石宏明、持田龍之輔

## 〔男子成績〕

階級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
階級	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録
55kg級	PRK 282	KAZ 258	ITA 252	KOR 251	ESP 250	BUL 248	ITA 236	TUR 235
61kg級	INA 317	CHN 310	CHN 308	COL 304	VIE 298	UZB 293	GEO 293	JPN 292
67kg級	CHN 332	CHN 323	VEN 322	UZB 319	COL 318	PRK 315	GEO 311	INA 310
73kg級	CHN 360	KOR 348	BLR 343	PRK 342	PRK 339	ALB 339	TUN 337	KAZ 337
81kg級	CHN 374	EGY 373	CHN 372	TKM 363	BLR 357	USA 357	GER 348	IRQ 346
89kg級	RUS 372	BLR 371	GEO 371	COL 370	CHI 369	VEN 369	ARM 365	COL 363
96kg級	IRI 416	CHN 407	ROU 391	BLR 390	QAT 388	THA 384	CAN 383	GEO 379
102kg級	IRI 396	UKR 393	IRI 393	UZB 392	GEO 376	UKR 373	RUS 367	SVK 361
109kg級	ARM 435	CHN 419	POL 403	IRQ 402	RUS 400	IRI 396	KOR 395	BUL 393
+109kg級	GEO 474	ARM 450	UZB 447	BRA 436	RUS 432	EST 427	TKM 427	IRI 424

男子団体								
1位	CHN	724点	2位	BLR	482点	3位	IRI	448点
4位	RUS	428点	5位	GEO	395点	6位	KOR	389点
10位	日本	316点						

[日本選手成績]

男子	61kg級	糸数陽一 (警視庁)	Robi point 882.7039
		S 125 129 132 C&J 155 160 162 T292	8位
	61kg級	高尾宏明 (自衛隊体育学校)	Robi point 697.3540
		S 118 122 125 C&J 148 150 150 T274	18位
	67kg級	近内三孝 (自衛隊体育学校)	Robi point 820.1235
		S 132 136 139 C&J 163 167 167 T303	13位
	73kg級	宮本昌典 (東京国際大学4年)	Robi point 931.4008
		S 141 146 149 C&J 172 178 182 T331	12位
	73kg級	五百蔵正和 (小波津整骨院)	Robi point 709.7651
		S 135 140 140 C&J 165 165 170 T305	23位
	81kg級	笠井武広 (ALSOK)	Robi point 698.6509
		S 140 140 145 C&J 180 180 181 T321	27位
	89kg級	山本俊樹 (ALSOK)	Robi point 881.1479
		S 155 160 163 C&J 190 199 208 T362	9位
	102kg級	田中太郎 (自衛隊体育学校)	Robi point 683.3960
		S 160 167 173 C&J 190 190 195 T357	10位
	109kg級	白石宏明 (自衛隊体育学校)	Robi point 699.6063
		S 160 165 165 C&J 205 205 205 T370	18位
	109kg級	持田龍之輔 (ALSOK)	Robi point 699.6063
		S 160 160 165 C&J 205 210 215 T370	19位

⑤ 世界選手権大会 (女子) 「NF強化事業」

開催期間	: 平成30年11月1日～11月10日
派遣期間	: 平成30年10月27日～11月12日
場所	: トルクメニスタン共和国 アシガバット市
派遣人数	: 指導者4名 菊田三代治、小畑直之、平良真理、今鉢一恵 選手10名 三宅宏実、高橋いぶき、八木かなえ、佐渡山彩奈、安藤美希子 松本潮霞、吉田朱音、見附絵莉、神谷 歩、嶋本麻美

[女子成績]

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
階級	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録
45kg級	THA 186	TKM 179	THA 171	VEN 157	ITA 156	VIE 151	BUL 141	
49kg級	THA 209	CHN 208	CHN 206	THA 201	ROU 188	DOM 187	INA 183	VIE 183
55kg級	THA 232	CHN 225	CHN 225	ROU 220	KAZ 213	UZB 212	TUN 211	TKM 210
59kg級	TPE 237	CHN 231	LAT 227	THA 225	JPN 224	VIE 223	NGR 215	INA 212
64kg級	CHN 252	PRK 239	THA 239	TPE 235	ROU 234	COL 232	KAZ 226	KAZ 224
71kg級	CHN 267	EGY 252	KAZ 242	RUS 240	USA 238	USA 233	COL 228	MEX 216
76kg級	CHN 270	PRK 269	ECU 259	COL 256	MEX 247	FRA 243	JPN 225	CAN 223
81kg級	ESP 249	BLR 245	ECU 242	USA 241	VEN 231	UKR 226	MEX 226	MEX 225
87kg級	CHN 268	PRK 263	DOM 254	CHI 250	VEN 249	RUS 244	ECU 241	RUS 233
+87kg級	RUS 330	CHN 327	THA 296	PRK 295	USA 290	THA 280	KOR 272	UKR 267

女子団体

1位	CHN	766点	2位	THA	696点	3位	KAZ	460点
4位	RUS	459点	5位	USA	431点	6位	MEX	397点
12位	日本	251点						

女子	49kg級	三宅宏実 (いちご株式会社)	Robi point 751.4544
		S 77 79 80 C&J 102 105 105 T181	9位
	49kg級	高橋いぶき (金沢学院大学4年)	Robi point 634.3392
		S 73 76 78 C&J 96 96 100 T172	18位
	55kg級	佐渡山彩奈 (いちご株式会社)	Robi point 598.4834
		S 78 80 82 C&J 96 100 102 T184	25位
	55kg級	八木かなえ (ALSOK)	Robi point 577.1448
		S 78 80 80 C&J 97 100 102 T182	27位
	59kg級	安藤美希子 (株・キュアリアス)	Robi point 978.9638
		S 93 97 97 C&J 124 128 131③ T224	5位
	64kg級	吉田朱音 (自衛隊体育学校)	Robi point 0
		S 87 87 87 C&J 106 109 109 T 0	
	64kg級	松本潮霞 (ALSOK)	Robi point 598.6598
		S 93 97 97 C&J 109 109 111 T204	25位
	71kg級	見附絵莉 (大阪府警)	Robi point 509.3000
		S 90 90 94 C&J 113 115 117 T207	14位
	76kg級	神谷 歩 (金沢学院大学・職)	Robi point 585.7483
		S 100 102 104 C&J 118 121 121 T225	7位
	87kg級	嶋本麻美 (金沢学院大学・職)	Robi point 0
		S 98 102 105 C&J 120 120 120 T 0	

⑥ 2018第5回カタールカップ国際大会 (東京オリンピック参加資格大会)

開催期日 : 平成30年12月19日～12月22日

派遣期間 : 平成30年12月17日～12月24日

場 所 : カタール国 ドーハ市

派遣人数 : 指導者 3名 小宮山哲雄、福田登美男、今鉢一恵  
男子選手3名 平井隼人、押田 真、村上英士朗  
女子選手3名 柳田瑞季、糸数加奈子、谷口さつき

【日本男子成績】

階級	氏名	S 1	S 2	S 3	C & J 1	C & J 2	C & J 3	T	順位
61kg級	平井隼人	114	120	124①	144	148	148③	272	1位
61kg級	押田 真	115	115③	122	142	149①	153	264	3位
+109kg級	村上英士朗	172	172	172	210	210	210	382	7位

【日本女子成績】

49kg級	柳田瑞季	73	76	78	93	98	98	176	3位
49kg級	糸数加奈子	70	72	74	84	87	90	164	5位
64kg級	谷口さつき	82	82	82	103	103	108	190	8位

⑦ 2019 EGAT' s Cup国際大会 (東京オリンピック参加資格大会)

開催期日 : 平成31年2月7日～2月10日

派遣期間 : 平成31年2月4日～2月12日

場 所 : タイ王国 チェンマイ市

派遣人数 : 指導者 5名 三宅義行、小宮山哲雄、三石悦雄、稲垣英二、今鉢一恵  
男子選手2名 糸数陽一、宮本昌典  
女子選手5名 三宅宏実、佐渡山彩奈、細見綾香、安藤美希子、嶋本麻美、

【日本男子成績】

階級	氏名	S 1	S 2	S 3	C & J 1	C & J 2	C & J 3	T	順位
61kg級	糸数陽一	128	128	133①NR	156	160①	163-	293NR	1位
73kg級	宮本昌典	130	135	140	168	173③	-	313	3位

【日本女子成績】

49kg級	三宅宏実	78	80②	81	100	100	103②	183	2位
55kg級	佐渡山彩奈	79	81	83②	98	101	103②	186	2位
55kg級	細見綾香	73	76	77	94	98	98	171	5位
59kg級	安藤美希子	85	90	94NR	115	120	125①	219	3位
87kg級	嶋本麻美	99	103	105②	118	118	122②	227	2位

- ⑧ 大会名 : 2019 IWF WORLD CUP 大会 (東京オリンピック参加資格大会)  
 開催期日 : 平成31年2月22日～2月27日  
 派遣期間 : 平成31年2月21日～2月28日  
 場 所 : 中華人民共和国 福建省 福州市  
 派遣人数 : 指導者 4名 小宮山哲雄、菊田三代治、山田政晴、大川克弘  
 男子選手3名 笠井武広、山本俊樹、持田龍之輔  
 女子選手4名 高橋いぶき、八木かなえ、見附絵莉、松本潮霞

【日本男子成績】

階級	氏名	S 1	S 2	S 3	C & J 1	C & J 2	C & J 3	T	順位
81kg級	笠井武広	140	145	145	178	184	184	329	5位
96kg級	山本俊樹	150③	160	160	190	201	201③	351	3位
109kg級	持田龍之輔	155③	160	163	190	200	210②	365	3位

【日本女子成績】

49kg級	高橋いぶき	73	73	73	94	98	100	167	6位
49kg級	八木かなえ	80	80	80	99	102	102③	—	
64kg級	松本潮霞	88	88	92	108	113	117	205	5位
64kg級	見附絵莉	87	87	92	108	111	111	198	7位

- ⑨ 大会名 : ラスベガス国際オープン大会 (東京オリンピック参加資格大会)  
 開催期日 : 平成31年3月8日～3月10日  
 派遣期間 : 平成31年3月5日～3月12日  
 開催場所 : アメリカ合衆国 ラスベガス市  
 選手団 : 指導者 3名 小畑直之、鈴木和美、今鉢一恵  
 男子選手4名 熊川雄太、原 勇輝、野中雅浩、知念光亮  
 女子選手3名 石井未来、関根萌莉、森下伊万里

【日本男子成績】

階級	氏名	S 1	S 2	S 3	C & J 1	C & J 2	C & J 3	T	順位
81kg級	原 勇輝	137	137	143③	174	181①	187	324	2位
81kg級	熊川翔太	143	148	148②	160	160	165	309	4位
+109kg級	野中雅浩	165	170	173	210	219②UR	226	389	2位
+109kg級	知念光亮	170	175②	180	200	212	212③	387	3位

【日本女子成績】

71kg級	石井未来	91	93③	95	112	112	116②	209	2位
81kg級	関根萌莉	85	90	93①	110①	116	116	203	1位
87kg級	森下伊万里	95②	99	99	115	120②	122	215	2位

⑩ 2019世界ユース選手権大会

- 開催期日 : 平成31年3月8日～3月15日  
 派遣期間 : 平成31年3月6日～3月17日  
 開催場所 : アメリカ合衆国 ラスベガス市  
 選手団 : 指導者 3名 小畑直之、鈴木和美、今鉢一恵  
 男子選手1名 山下立真  
 女子選手3名 武藤理恵瑠、山下笑佳、中島一馨

【日本男子成績】

階級	氏名	S 1	S 2	S 3	C & J 1	C & J 2	C & J 3	T	順位
67kg級	山下立真	105	109	112	130	134	135	247	9位

【日本女子成績】

49kg級	武藤理恵瑠	68	68	68	83	83	83	—	
49kg級	山下笑佳	68③	70	70	80	83	85MR	153	4位
81kg級	中島一馨	83	86③	89	102	106	109③	195	3位

○ JOCの直轄事業(チーム派遣事業)として、次の大会へ選手・指導者を派遣した。

① アジア競技大会

- 開催期間 : 平成30年8月20日～8月27日

派遣期間 : 平成30年8月14日～8月29日  
 場 所 : インドネシア国 ジャカルタ市  
 派遣人数 : 指導者 5名 小宮山哲雄、堀越典昭、小畑直之、今鉢一恵  
 男子選手7名 女子選手7名、計14名

〔男子成績〕

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	参加
56kg級	PRK 287	VIE 280	INA 272	VIE 271	THA 265	KSA 264	PHI 253	KSA 249	10名
62kg級	INA 311	VIE 299	UZB 298	PRK 298	JPN 288	VIE 288	PAK 287	INA 282	15名
69kg級	PRK 336	UZB 331	KGZ 330	INA 329	THA 327	KSA 319	INA 318	JPN 316	18名
77kg級	PRK 348	KOR 347	THA 341	KOR 330	IND 327	JPN 326	THA 317	TPE 316	21名
85kg級	IRQ 361	KOR 360	PRK 348	JPN 346	KOR 345	UZB 340	TKM 325	THA 321	13名
94kg級	IRI 410	QAT 381	THA 380	KOR 367	KGZ 366	TPE 350	KSA 340	IND 335	10名
105kg級	UZB 421	IRQ 405	IRI 403	KOR 395	KOR 394	JPN 372	PAK 293	-	8名
+105kg級	IRI 461	IRI 456	UZB 455	TKM 425	PAK 405	-	-	-	7名

〔日本男子成績〕

階級	氏名	S 1	S 2	S 3	C & J 1	C & J 2	C & J 3	T	順位
62kg級	糸数陽一	125	130	<del>133</del>	152	158	<del>163</del>	288	5位
62kg級	高尾宏明	122	<del>125</del>	125	<del>152</del>	<del>152</del>	152	277	10位
69kg級	宮本昌典	<del>138</del>	138	<del>143</del>	168	173	178	316	8位
69kg級	近内三孝	<del>137</del>	137	<del>142</del>	170	<del>175</del>	<del>177</del>	307	10位
77kg級	笠井武広	<del>139</del>	139	144	177	182	<del>187</del>	326	6位
77kg級	五百蔵正和	140	<del>145</del>	<del>145</del>	168	<del>175</del>	175	315	9位
85kg級	山本俊樹	145	151	155	191	<del>198</del>	<del>198</del>	346	4位
105kg級	田中太郎	<del>165</del>	165	172	190	200	<del>206</del>	372	6位

〔女子成績〕

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	参加
48kg級	PRK 199	INA 195	THA 189	VIE 181	VIE 177	TPE 176	JPN 172	KGZ 167	12名
53kg級	PHI 207	TKM 206	THA 201	PRK 200	THA 199	INA 197	JPN 190	PHI 180	12名
58kg級	TPE 235	THA 226	JPN 218	UZB 217	INA 208	KOR 203	LAO 141	-	7名
63kg級	PRK 250	PRK 238	THA 225	PHI 201	KOR 200	BAN 178	-	-	7名
69kg級	PRK 246	TPE 233	KOR 231	KOR 227	TPE 225	INA 201	JPN 200	PHI 195	8名
75kg級	PRK 263	UZB 237	KOR 236	TPE 224	JPN 222	TKM 211	IRQ 207	NEP 175	10名
+75kg級	PRK 291	KOR 282	THA 280	KOR 279	THA 268	INA 253	-	-	6名

〔日本女子成績〕

階級	氏名	S 1	S 2	S 3	C & J 1	C & J 2	C & J 3	T	順位
48kg級	高橋いぶき	71	71	73	95	99	<del>102</del>	172	7位
48kg級	柳田瑞季	70	<del>73</del>	73	90	93	<del>95</del>	163	9位
53kg級	八木かなえ	82	84	<del>86</del>	103	106	<del>113</del>	190	7位
53kg級	佐渡山彩奈	70	73	75	88	<del>91</del>	91	166	11位
58kg級	安藤美希子	91	91	91	122	<del>127</del>	127	218	3位
69kg級	石井未来	85	90	90	107	112	115	200	7位
75kg級	神谷 歩	100	<del>103</del>	<del>103</del>	118	122	<del>127</del>	222	5位

② ユースオリンピック競技大会

開催期間 : 平成30年10月6日～10月18日  
 派遣期間 : 平成30年10月2日～10月19日  
 場 所 : アルゼンチン共和国 ブエノスアイレス市  
 派遣人数 : 指導者1名 柏木悠里 女子選手1名 橋本董 計2名

[大会結果]

階級	氏名	S 1	S 2	S 3	C & J 1	C & J 2	C & J 3	T	順位
63kg級	橋本 董	65	70	75	85	91	95	170	8位

(5) 国際交流大会

アジア近隣諸国との友好親善を目的に公益財団法人日本スポーツ協会が主催する標記大会へ選手団の派遣を行った。

① 日韓中ジュニア交流競技会

派遣期間 : 平成30年8月23日～8月29日

大会期間 : 平成30年8月25日・8月26日

場 所 : 大韓民国 麗水市

参加人数 : 指導者 5名 青木延明、浅野泰典、原 徹、佐藤公治、木曾川章

男子選手7名 山口優人、坂本拓夢、佐藤幸太郎、齋藤正吾

柏木良太、三宅敬之、村田優希

女子選手8名 吉田いぶき、原 沙織、伊藤麻衣、山根 緑、

吉武温子、中島一馨、山崎晴子、中嶋友菜 計20名

[男子成績]

階級	1位	2位	3位
56kg級	韓国 245	日本 217	全南 216
62kg級	韓国 255	日本 226	全南 197
69kg級	韓国 290	日本 282	全南 272
77kg級	韓国 268	全南 252	日本 250
85kg級	韓国 280	全南 255	
94kg級	韓国 285	全南 268	日本 267
105kg級	韓国 295	日本 272	全南 250
+105kg級	韓国 297	日本 281	全南 265

[日本男子成績]

階級	氏名	S 1	S 2	S 3	C & J 1	C & J 2	C & J 3	T	順位
56kg級	山口優人	98	98	98	111	116	119	217	2位
62kg級	坂本拓夢	98	104	104	118	122	122	226	2位
69kg級	佐藤幸太郎	120	120	128	140	152	162HR	282	2位
77kg級	齋藤正吾	110	115	120	130	135	138	250	3位
94kg級	柏木良太	114	120	120	143	148	153	267	3位
105kg級	三宅敬之	110	115	122	145	150	157	272	2位
+105kg級	村田優希	110	115	120	140	145	150	265	3位

[女子成績]

階級	1位	2位	3位
48kg級	日本 136	韓国 135	
53kg級	日本 161	韓国 160	
58kg級	韓国 164	日本 163	全南 151
63kg級	韓国 167	日本 160	全南 148
69kg級	日本 169	韓国 130	
75kg級	日本 185	韓国 173	
90kg級	韓国 210	日本 198	全南 140
+90kg級	韓国 225	日本 181	

[日本女子成績]

階級	氏名	S 1	S 2	S 3	C & J 1	C & J 2	C & J 3	T	順位
48kg級	吉田いぶき	55	57	57	75	78	81	136	1位
53kg級	原 沙織	69	72	75	89	89	92	161	1位
58kg級	伊藤麻衣	66	69	71	86	89	92	163	2位
63kg級	山根 緑	67	70	73	80	84	87	160	2位

69kg級	吉武温子	70	75	80	90	94	98	169	1位
75kg級	中島一馨	80	83	85	102	105	105	185	1位
90kg級	山崎晴子	82	86	88	103	107	110HR	198HR	2位
+90kg級	中嶋友菜	70	75	80	99	102	106	181	2位

【新記録】

日本高校新記録	男子69kg級	佐藤康太郎 (宮城県農業高校)	C & J	162kg
"	女子90kg級	山崎晴子 (新居浜南高校)	C & J	110kg
		"	T	198kg

② 日本・韓国・中国フレンドシップ大会「NF強化事業」

開催期間 : 平成30年11月5日・6日  
 派遣期間 : 平成30年11月3日～11月8日 6日間  
 場所 : 大韓民国舒川(ソチョン) 市  
 派遣人数 : 指導者8名、男子選手8名、女子選手8名、計24名

[男子]

階級	1位	2位	3位
55kg級	日本 228		
61kg級	中国 268	韓国 245	日本 237
67kg級	韓国 270	日本 256	
73kg級	中国 345	韓国 306	日本 292
81kg級	韓国 307	日本 306	
89kg級	韓国 324	韓国 320	日本 289
96kg級	韓国 323	日本 319	
102kg級	韓国 385	中国 377	日本 313
109kg級	中国 338	日本 327	
+109kg級	中国 411	韓国 329	

団体順位 1位 韓国 2位 中国 3位 日本

階級	氏名	S	C & J	トータル	順位
55kg級	東野 凌大	97 97 102	126 126	228	1位
61kg級	平井 海斗	98 102 106	135 141	237	3位
67kg級	友利 和樹	105 105 108	145 148	256	2位
73kg級	山根 大地	123 128 135	151 157	292	3位
81kg級	宍戸 大輔	130 135 141	160 165	306	2位
89kg級	扇本 崇聖	128 134 140	155 160	289	3位
96kg級	ジエンテイ今夢	140 145 150	165 174	319	2位
102kg級	土田 恵和	127 132 137	165 170	313	3位
109kg級	尾添 勇平	140 145 152	175 180	327	2位

[女子]

階級	1位	2位	3位
45kg級	日本 142		
49kg級	中国 190	韓国 153	日本 125
55kg級	中国 205	日本 165	韓国 160
59kg級	日本 178	韓国 174	韓国 168
64kg級	中国 205	日本 196	韓国 170
71kg級	中国 215	日本 197	韓国 192
76kg級	中国 218	日本 200	韓国 192
81kg級	韓国 209	日本 207	
87kg級	日本 202		
+87kg級	中国 290	韓国 245	日本 210



団体順位 1位 中国 2位 日本 3位 韓国

階級	氏名	S			C&J			トータル	順位
45kg級	江藤 華	60	64	67	70	75	79	142	1位
49kg級	森 加奈子	50	50	52	70	73	73	125	3位
55kg級	安嶋 千晶	70	74	77	90	93	95	165	2位
59kg級	寺島 奈穂	75	78	80	95	100	102	178	1位
64kg級	造田 愛永	80	84	87	100	103	109	196	2位
71kg級	葛原 麻結	85	88	88	105	108	112	197	2位
76kg級	柏木 麻希	85	90	93	105	110	115	200	2位
81kg級	知念 ひめの	83	88	92	110	115	115	207	2位
87kg級	関根 萌莉	85	90	94	107	112	117	202	1位
+87kg級	森下 伊万里	92	92	92	110	114	118	210	3位

(6) スポーツ医科学研究事業との連携に基づく強化

① 国立スポーツ科学センターから次のハイパフォーマンス事業を受ける。

ア) 栄養、心理、トレーニング、情報、科学の各分野が連携した医・科学支援を、継続して実施した。

イ) ウェイトリフティングの技術について、全日本選手権大会及び世界選手権大会、ジュニア世界選手権大会において高速ビデオカメラ撮影、動作解析し、選手・指導者へのフィードバックを依頼すると共に、その内容について全国指導者研修会で報告した。

ウ) フィットネスチェックでは、体力測定及び選手の体調管理検査を実施した。

② ミズノスポーツ振興財団の助成により、競技時における外傷・障害発生率は海外の主要な大会の関する報告よりは低値であるが、障害の有病率は比較的高いのが実状である。本年も、引き続き従来の外傷・障害調査を対象とする競技会の数を増やすとともに、調査を行った。

③ 主要競技会において医科学委員会の医師等が医事運営にあたり、競技会時の安全管理・危機管理の向上をめざすと共に外傷・障害の発生頻度の調査・分析を行った。

(7) ナショナルコーチの推薦

公益財団法人日本オリンピック委員会のナショナルコーチ事業制度を活用し、ナショナルコーチ及びアシスタントナショナルコーチを推薦し、選手指導に従事した。

ナショナルコーチ・・・小宮山哲雄氏

アシスタントナショナルコーチ・・・細川翔平氏

(8) コーチの推薦

味の素ナショナルトレーニングセンター専用施設の有効活用と選手強化のコーチングの任に当たるために、公益財団法人日本オリンピック委員会の専任コーチ等設置事業制度を活用し、ナショナルチーム指導者のトップコーチ・NTC担当・ジュニアコーチングディレクターの任についた。

トップ専任コーチ・・・三宅義行 氏

ジュニア担当コーチ・・・高倉玄喜 氏

NTC専任コーチ・・・柴田里穂 氏

2. コーチの資質向上を目的とする事業

(1) 全国指導者研修会

ウェイトリフティング指導者の資質と指導力の向上及び指導者間の情報交換並びに連携を図ることを目的に開催した。

期日 平成31年2月10日・11日

会場 味の素ナショナルトレーニングセンター

指導者 3名、参加者 26名

内容 ・2018年総括及び2020東京オリンピックに向けて

・医科学委員会より講習 講師：米山喜平氏

(2) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者専門教科講習会講師の派遣

日本スポーツ協会の委託事業として次の事業を実施した。

① 日本体育協会公認スポーツ指導者「指導員」養成(専門教科)講習会

期 日 平成30年9月14日～9月17日

時 間 30時間

会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター

(3) ウェイト・ワークアウトコーチ育成事業

民間のフィットネスクラブ・ワークアウト施設で幅広くウェイトリフティング種目、補助種目が教えられていることから、これらの施設指導者に対し、正しいトレーニング技術を教える事業をNSCAと共に計画した。

## II. 競技者育成事業

### 1. 研修合宿開催

一貫指導システム(ナショナルトレーニングシステム)の理念と方法に基づき、競技者の発掘及び育成を図ることを目的に次の研修合宿を実施した。

この事業は、(スポーツ振興くじ助成事業)として補助を受けて開催した。

(1) 中学生・高1研修合宿(ディベロップメント)

支部協会に中学生及び高校1年生の優秀競技者の情報提供を依頼し、選手強化委員会の専門グループがセクションした選手を対象に研修合宿を実施した。

期 間 : 平成30年 7月26日～ 7月29日(3泊4日)

場 所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター

指導者 : 13名 小栗和成、上村琢、小畑直之、川畑勉、原徹、長谷章一、堀内康晴、中川卓、可児暢也、飛田高志、川崎さと美、宮城円、柴田里穂、

参加者 : 30名 中学生及び高校一年生

内 容 : 実技指導・S、C&J2種目のフォーム分析

・補助種目の習得とトレーニング

・筋力強化のトレーニング

・体幹トレーニング等

講 義 ・栄養指導 (JISS職員)

・スポーツの心理 (JISS職員)

・アンチドーピング(本協会担当者)

・JOCオリンピック講話(カーリング 山口剛史選手)

・JOC講習会「スポーツマンシップ研修」

(2) 大学生研修合宿(ジュニア スペリオリティー)

各種競技会の成績を基に、ジュニア年代の学生をセクションし、中央にて研修合宿を実施した。

期 間 : 平成30年 9月10日～ 9月14日(4泊5日)

場 所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター

指導者 : 7名 小宮山哲雄、植田洋、加藤智子、野澤雄一、高倉玄喜

柴田里穂、齋藤里香

参加者 : 26名 大学生

内 容 : 実技指導・S、C&J2種目のフォーム分析

・補助種目の習得とトレーニング

・筋力強化のトレーニング

・体幹トレーニング

講 義 ・世界情勢 (本協会担当者)

・競技規則 (本協会担当者)

・栄養指導 (JISS職員)

・心理学 (JISS職員)

・アンチドーピング(本協会担当者)

・JOCオリンピック講話(水泳 山口美咲選手)

- ・インテグリティ教育（JOC担当）
- ・JOCコミュニケーションスキル（JOC担当者）

### (3) ジュニアエリート研修合宿

各種競技会の成績を基に、優秀な高校2・3年生をセレクションし、中央（NTC）にて研修合宿を実施した。

期間：平成30年12月22日～12月27日（5泊6日）

場所：味の素ナショナルトレーニングセンター

指導者：10名 平良真理、坂田理、渡邊勇人、三浦宏也、太田和臣、上村琢、原徹、浅野泰典、扇長真由美、柏木悠里

参加者：34名 高校生

内容：実技指導・S、C&J 2種目のフォーム分析

・補助種目の習得とトレーニング

・筋力強化のトレーニング

・体幹トレーニング

講義・世界の情勢（本協会担当者）

・競技ルールとマナー（本協会担当者）

・栄養指導「スポーツ選手と栄養」（JISS職員）

・スポーツの心理（JISS職員）

・アンチドーピング（本協会担当者）

・JOCオリンピック講話（ボブスレー 桧野真奈選手）

・JOC講習会「目標設定」（JOC職員）

### (4) ジュニアユース研修合宿

都道府県協会よりの優秀競技者の情報及び各種競技会の成績を基に、優秀な中学生及び高校1年生を対象に全国を6地区に区分して研修合宿を実施した。

期間：平成30年12月23日～12月27日（4泊5日）

場所：全国を（北海道・東北、関東、北信越・東海、近畿、中国・四国、九州）6地区に分けて実施する。

指導者：各地区5名の計29名（1名不参加）

参加者：各地区10名の計59名（1名不参加）

## 2. 2024年・2028年対策競技者発掘・育成事業支援

2024年パリ・2028年ロサンゼルスオリンピック対策として、都道府県で競技者の発掘・育成をする事業を公募し、石川県協会がタレント発掘事業を行った。

## 3. 公益財団法人日本スポーツ協会主催「ジャパンライジングスタープロジェクト」タレント発掘事業参加

平成29年度より、日本スポーツ協会主催の全国から中学生・高校生の異種目競技からの転向タレント発掘事業が7競技団体において実施されている。本競技団体も指定され本年度も継続して実施されることから若い層のタレント発掘事業を継続する。第2期生は下記の選手である。

### 記

・平成30年12月から平成31年10月の間合宿実施（拠点県 山梨県）。

男子：安藤周粋（福岡県：中学1年）

女子：安部希美（愛媛県：中学3年）

開田一輝（岐阜県：中学1年）

森 美仁（宮城県：中学2年）

四条海斗（東京都：中学3年）

志村涼風（山梨県：中学1年）

野上脩久（埼玉県：中学3年）

本間桃果（山形県：中学1年）

## III. 振興・教育事業

会員の状況及び役員・選手の登録を把握し、競技者規程・競技規則の周知、記録の公認、審判員の養成、国際交流、アンチドーピング活動及びコンプライアンスの徹底等は、競技の透明性や公平・公正性を向上させることに繋がり、安全かつ公正な環境下でスポーツに参画できる機会を充実させるための基礎条件である。スポーツを通じて、他者を尊重しこれを共同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度等を培っていくためにも重要であることから次の事業を行う。

- (1) 会員の状況  
 正会員： 48名 (各都道府県と学生連盟)  
 名誉会員： 8名  
 賛助会員： 136名

(2) 役員・選手の登録状況

年度	区分	役員 役員兼選手	選手					合計
			一般	大学	高校	中学	小学	
平成25年度	総数	1, 270	401	513	2, 043	111	25	4, 363
	男子	1, 186	378	440	1, 762	82	15	3, 863
	女子	84	23	73	281	29	11	501
平成26年度	総数	1, 267	426	492	2, 077	120	29	4, 411
	男子	1, 181	388	425	1, 762	79	16	3, 851
	女子	86	38	67	315	41	13	560
平成27年度	総数	1, 290	441	521	2, 116	147	39	4, 554
	男子	1, 197	395	446	1, 754	68	17	3, 877
	女子	93	46	75	362	79	22	677
平成28年度	総数	1, 288	494	549	2, 107	142	43	4, 623
	男子	1, 190	440	462	1, 737	81	27	3, 937
	女子	98	54	87	370	61	16	686
平成29年度	総数	1, 308	479	570	2, 178	154	59	4, 748
	男子	1, 207	427	473	1, 764	91	37	3, 999
	女子	101	52	97	414	63	22	749
平成30年度	総数	1, 295	506	608	2, 069	150	53	4, 681
	男子	1, 184	457	496	1, 622	87	33	3, 879
	女子	111	49	112	447	63	20	802

(4) スポーツ外交の推進

2017年に国際ウエイトリフティング連盟の役員(理事)獲得ができたため、2020東京オリンピック開催成功に向けて役員を各事業(国際大会等)へ参加させた。また、諸外国より来邦がより多くなるため交流を持った。

(5) 生涯スポーツの振興

本競技もマスターズ年齢において、楽しく競技を行っている選手がいる。目標を持ち人生においても生涯スポーツとしてIWFワールドマスターズ大会へ参加した。

大会会期：平成30年8月18日～25日

場所：スペイン国 バルセロナ市

(6) 情報の収集と情報誌の発刊

- ① IWF及びAWFの会議及び大会に代表者を派遣し、情報収集と併せてIWF・AWFとの連携を図るため役員を派遣した。

- ・アジアユース・ジュニア選手権大会 (AWF関係会議)

期日：平成30年 4月20日～30日 場所：ウズベキスタン共和国ウルゲンチ市

参加者：知念令子理事、加藤智子理事、中嶋耕平理事

- ・世界ジュニア選手権大会 (IWF関係会議) 及びIWF総会

期日：平成30年 7月 4日～14日 場所：ウズベキスタン共和国タシケント市

参加者：知念令子理事、岡田純一理事

- ・アジア競技大会 (AWF関係会議)

期日：平成30年 8月12日～27日 場所：インドネシア国 ジャカルタ市

- 参加者：知念令子理事、小宮山哲雄専務、加藤智子理事
- ・世界選手権大会（IWF関係会議）及びIWF総会  
期日：平成30年11月1日～11月10日  
場所：トルクメニスタン国 アシガバット市  
参加者：小宮山哲雄専務、知念令子理事、岡田純一理事、米山喜平氏
  - ・IWF理事会・総会  
期日：平成31年3月5日～3月8日  
場所：アメリカ合衆国 ネバダ州ラスベガス  
参加者：三宅義行会長、通訳上坂忠正氏、知念令子理事、岡田純一理事、米山喜平氏

② スポーツ振興くじの助成を受けて、平成29年度年鑑、会報129号、会報130号、会報131号を発刊した。主な内容は次のとおり。

年鑑：平成29年度の協会主催競技会及び主要国際大会の成績  
協会組織図、協会役員名簿、都道府県協会役員名簿、平成29年度事業、公認最高記録及び記録樹立表、ランキング表等

会報：平成30年度事業計画、各種事業報告、大会講評、ブロック大会以上の競技会及び主要国際大会の成績、各種研究成果報告

(7) 用器具等の検定及び公認

記録競技（重量）であることから、バーベルはじめ用器具が適確でなければならない。本協会器具公認認定規則に基づき、高品質で絶対の安全性と機能性のあることを確認するなかで申請のあった器具に対して認定手続きを行った。

(8) 顕彰

本協会表彰規程に基づき、下記により功労賞、優秀選手賞、優秀指導者賞の表彰を行った。また、日頃お世話になっているスポンサーに対して感謝状贈呈も行った。

☆功労賞の推薦（17名）

①岡田 晃	(82歳)	北海道協会	元 会長	第3条2(1)	(昭和59年～ 33年間)
		"		(会長職)	13年間)
②中田正剛	(78歳)	北海道協会	元 副会長	第3条2(2)	(昭和40年～ 53年間)
③椎名彦晴	(64歳)	秋田県協会	現 監事	第3条2(2)	(昭和53年～ 41年間)
④椎名千代実	(61歳)	秋田県協会	現 副理事長	第3条2(2)	(昭和55年～ 39年間)
⑤鈴木和江	(71歳)	東京都協会	現 副会長	第3条2(2)	(平成10年～ 21年間)
⑥藤原講平	(67歳)	神奈川県協会	現 監事	第3条2(2)	(平成2年～ 29年間)
⑦加納 修	(58歳)	神奈川県協会	現 理事	第3条2(2)	(平成6年～ 25年間)
⑧一木勝次	(51歳)	石川県協会	現 理事	第3条2(2)	(平成5年～ 26年間)
⑨小島敏和	(51歳)	石川県協会	現 常任理事	第3条2(2)	(平成5年～ 26年間)
⑩組頭健太郎	(69歳)	福井県協会	現 常任理事	第3条2(2)	(平成3年～ 28年間)
⑪田中幹夫	(67歳)	福井県協会	現 常任理事	第3条2(2)	(昭和60年～ 34年間)
⑫武井多加志	(60歳)	山梨県協会	現 理事長	第3条2(2)	(平成5年～ 26年間)
⑬井出哲夫	(69歳)	静岡県協会	現 副会長	第3条2(2)	(平成5年～ 26年間)
⑭仁井谷 徹	(73歳)	大阪府協会	現 副会長	第3条2(2)	(平成9年～ 22年間)
⑮富永佳孝	(46歳)	徳島県協会	現 理事長	第3条2(2)	(昭和63年～ 31年間)
⑯川畑 勉	(61歳)	沖縄県協会	現 会長	第3条2(2)	(平成9年～ 22年間)
⑰比嘉定博	(61歳)	沖縄県協会	現 理事	第3条2(2)	(平成4年～ 27年間)

☆優秀選手賞（14名）

第3条 第3項 (1) 該当

①女子59kg級	安藤美希子 (株・キュアリアス)	2018世界選手権大会	第5位
②女子76kg級	神谷 歩 (金沢学院大学職員)	2018世界選手権大会	第7位
③男子61kg級	糸数陽一 (警視庁)	2018世界選手権大会	第8位

第3条 第3項 (2) 該当

①女子58kg級 安藤美希子 (株・キュアリアス)	第18回アジア競技大会	第3位
第3条 第3項 (3) 該当		
①男子56kg級 知念勇斗 (早稲田大学4年)	世界大学選手権大会	第1位
②男子62kg級 益子広幸 (日本大学3年)	世界大学選手権大会	第1位
③女子48kg級 鈴木梨羅 (早稲田大学2年)	世界大学選手権大会	第1位
第3条 第3項 (4) 該当		
①男子 53kg級 佐野優凶 (日本体育大学助手)	S 107kg	
②男子 69kg級 宮本昌典 (東京国際大学4年)	S 151kg	
男子 77kg級 宮本昌典 (東京国際大学4年)	S 155kg C&J 188kg	
〃	T 332kg 338kg 343kg	
③男子 77kg級 笠井武広 (ALSOK)	C&J 187kg T 331kg	
④男子 77kg級 熊川雄太 (自衛隊体育学校)	S 153kg	
⑤男子 85kg級 山本俊樹 (ALSOK)	C&J 206kg T 361kg	
男子 94kg級 山本俊樹 (ALSOK)	S 162kg 163kg C&J 199kg T362kg	
(新階級89kg級にて) 〃	S 165kg C&J 202kg T367kg	
⑥男子 85kg級 木下竜之 (財・福井県体育協会)	S 159kg	
⑦男子105kg級 田中太郎 (自衛隊体育学校)	S 176kg	
⑧女子 58kg級 安藤美希子 (株・キュアリアス)	S 96kg 100kg C&J 127kg	
〃	T 222kg 223kg	
女子 63kg級 安藤美希子 (株・キュアリアス)	C&J 131kg T224kg	
(新階級59kg級にて)		

#### ☆優秀指導者賞

##### 優秀選手を指導した指導者 (10名)

- |               |                  |      |
|---------------|------------------|------|
| ①三石悦雄：千葉県協会   | ・・・安藤美希子選手       | の指導者 |
| ②菊田三代治：金沢学院大学 | ・・・神谷 歩選手        | の指導者 |
| ③稲垣英二：警視庁     | ・・・糸数陽一選手        | の指導者 |
| ④堀越典昭：自衛隊体育学校 | ・・・田中太郎選手・熊川雄太選手 | の指導者 |
| ⑤山田政晴：ALSOK   | ・・・笠井武広選手・山本俊樹選手 | の指導者 |
| ⑥三宅敏博：東京国際大学  | ・・・宮本昌典選手        | の指導者 |
| ⑦岡田純一：早稲田大学   | ・・・鈴木莉羅選手        | の指導者 |
| ⑧吉岡史生：早稲田大学   | ・・・知念勇人選手        | の指導者 |
| ⑨新井健一：日本大学    | ・・・益子広幸選手        | の指導者 |
| ⑩関口 脩：日本体育大学  | ・・・佐野優凶選手        | の指導者 |

#### (9) アンチドーピング活動

スポーツの価値を損ない、フェアプレイの精神に反し、競技者の健康を害する、反社会的行為であるドーピングに対する啓発と検査を実施し、注意喚起をした。

##### ① 啓発・教育活動

- ・ JADAが作成したドーピング防止ガイドブック (PLAY TRUE)を指導者・選手に配付 (2,000部) し情報を提供した。
- ・ 各種競技会前の監督会議にて最新情報を伝達し、啓発・教育活動を行った。
- ・ アウト・リーチを全国高等学校女子選手権大会及び全国高校総体で開催した。  
担当者：加藤智子委員、選手代表 持田龍之輔

##### ② 講習会・研修会の開催

- ・ 世界ジュニア代表選手・指導者講習会  
開催日 : 5月3日  
開催場所：味の素ナショナルトレーニングセンター  
講義者 : 加藤智子 受講者人数：16名  
講義内容：日常生活の注意点、世界の情勢、ADAMSについて
- ・ 中学生・高校1年生合宿参加者講習会  
開催日 : 7月27日  
開催場所：味の素ナショナルトレーニングセンター

- 講義者 : 加藤智子 受講者人数 : 43名
  - 講義内容 : アンチ・ドーピング概論、日常生活の注意点
- ・ 全国高校女子選手権大会参加者へむけてのアウトリーチ
  - 開催日 : 7月15・16日
  - 開催場所 : 群馬県前橋市ヤマト体育館
  - 講義者 : 斎藤里香、持田龍之輔 (協力アスリート)
  - 受講者人数 : 120名
  - 講義内容 : アンチ・ドーピング概論
- ・ 全国高校総合体育大会参加者へむけてのアウトリーチ
  - 開催日 : 8月4・5日
  - 開催場所 : 三重県亀山市西野運動公園体育館
  - 講義者 : 加藤智子、斎藤里香、持田龍之輔 (協力アスリート)
  - 受講者人数 : 260名
  - 講義内容 : アンチ・ドーピング概論
- ・ 大学生研修合宿参加者講習会
  - 開催日 : 9月11日
  - 開催場所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター
  - 講義者 : 斎藤里香 受講者人数 : 32名
  - 講義内容 : アンチ・ドーピング概論、日常生活の注意点、ドーピング検査について
- ・ ジュニアユース研修合宿参加者講習会 (近畿ブロック)
  - 開催日 : 12月23日 JOCジュニアオリンピックユース選手
  - 開催場所 : 京都府立加悦谷高等学校
  - 講義者 : 斎藤里香
  - 受講者 : 18名
  - 講義内容 : アンチ・ドーピング概論、日常生活の注意点、ドーピング検査について
- ・ ジュニアユース研修合宿参加者講習会 (近畿ブロック)
  - 開催日 : 12月23日
  - 開催場所 : 九州国際大学
  - 講義者 : 斎藤里香
  - 受講者 : 20名
  - 講義内容 : アンチ・ドーピング概論、日常生活の注意点、ドーピング検査について、ADMSについて

③ ドーピング検査

スポーツ振興くじの助成を受けて、競技会検査を実施する。(全日本選手権大会を含む。尿検査・血液検査合計で51検体を検査した。)

- ・ 日本スポーツ協会が国民体育大会時に行う検査に協力した。

④ TUE申請大会の指定によるその実践

世界選手権大会等の国際大会出場者には、TUEの申請が不可欠である。国内競技会においては徹底されていない状況であることから、次の2大会を指定し申請の徹底を図りアンチドーピングの意識高揚を促した。

- ・ 全日本選手権大会
- ・ 国民体育大会

⑤ ADAMSへの居場所情報報告の徹底

- ・ JOC認定の強化指定選手及びIWFからの指定選手並びに国際大会参加選手は、居場所情報をJADAに報告する義務がある。報告をしないこと及び居場所情報に基づく競技会外検査で所定の場所に行かない場合は居場所情報違反としてペナルティーの対象となることから報告の徹底を指導した。

- ・ 報告の確認・督促、他の選手の情報の提供等をメールし未提出の注意喚起をした。

(10) 審判員の資質向上

① 審判講習会の開催

本競技は、判定に対する抗議権がない。判定は公正・公平であり選手に不利益があつ

てはならない。審判員の資質の向上を目的に次の講習会を開催した。

- ・ 対象者： 国内1級審判資格、国際審判資格所持者（義務研修）及び平成30年度に国内1級審判を受験希望する審判員を対象とした。
- ・ 講習会： 西ブロック  
    期日： 平成30年 7月7日（土）  
    場所： 大阪府 羽曳野市 羽曳野コロセアム  
    講師： 島田隆宏審判員  
    受講者： 7名  
    東ブロック  
    期日： 平成30年 9月15日（土）  
    場所： 東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター研修室  
    講師： 磯村健一審判委員  
    受講者： 17名

② 国際大会へ審判員等を派遣し、資質の向上を図ると同時に国際基準での競技運営能力の向上にも努めた。

- ・ アジアユース・ジュニア選手権大会  
    派遣期間： 平成30年4月20日～4月30日  
    場 所： ウズベキスタン共和国 ウルゲンチ市  
    派遣人数： 4名（知念令子・新井谷まさよ・牛山正剛・中嶋耕平）
- ・ 世界ジュニア選手権大会  
    派遣期間： 平成30年7月4日～7月14日  
    場 所： ウズベキスタン共和国 タシケント市  
    派遣人数： 2名（知念令子・末廣誠）
- ・ アジア競技大会  
    派遣期間： 平成30年8月18日～8月27日  
    場 所： インドネシア国 ジャカルタ市  
    派遣人数： 2名（知念令子・長谷章一）
- ・ ユースオリンピック競技大会  
    派遣期間： 平成30年10月4日～10月15日  
    場 所： アルゼンチン国 プエノスアイレス市  
    派遣人数： 1名（島田隆宏）
- ・ 世界大学選手権大会  
    派遣期間： 平成30年9月18日～9月26日  
    場 所： ポーランド国 ビアラポドラスカ市  
    派遣人数： 2名（鶴野裕子・中嶋耕平）
- ・ 日韓中フрендシップ大会  
    派遣期間： 平成30年11月 5日～11月 6日  
    場 所： 韓国  
    派遣人数： 2名（佐藤好一郎・山田陽一）
- ・ 世界選手権大会  
    派遣期間： 平成30年11月1日～11月10日  
    場 所： トルクメニスタン共和国 アシガバッド市  
    派遣人数： 2名（知念令子・岡田純一）

(11) 審判員の審査と認定

申請に基づき審判委員会で公認審判員の審査を行い、理事会において認定を行った。

(12) 暴力、パワハラ、セクハラ等撲滅活動

- ・ 暴力、パワハラ、セクハラ等の相談窓口の設置  
    些細なことでも相談できるシステムとして、本協会のホームページ（トップページ）に「STOP ハラスメント・暴力」相談窓口をクリックすることにより、メール送信できるように窓口を設置済み。



- 暴力、パワハラ、セクハラ、倫理に係わる研修  
次の研修会・委員会・総会・会議等を通じて実施した。  
全国指導者研修会  
全国高等学校体育連盟ウエイトリフティング専門部全国委員会  
全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技会監督会議  
全日本学生ウエイトリフティング連盟総会  
全国理事長会議
- 指導者・選手に十分注意喚起し、軽率な行動を取らない、巻き込まれない、常に競技を考える指導をした。

(13) ホームページの充実整備

法人として公開しなければならない情報はもとより、役員・選手のニーズに合わせた内容及び一般のユーザーに分かるように情報発信をしている。特にSNS（フェイスブック）により、競技会についてリアルタイムに情報伝達を行った。

(14) 記録の公認

- ① 競技・競技会規則Ⅷに基づき、日本記録を認定し公表した。次の日本記録、ジュニア日本記録、大学記録、高校記録、中学記録、マスターズ記録が樹立された。

**新記録樹立合計表**

	男子						女子						合計
	日本	ジュニア日本	大学	高校	中学	マスターズ	日本	ジュニア日本	大学	高校	中学	マスターズ	
前期	8	0	8	0	9	0	2	0	0	4	33	0	64
後期	16	0	12	4	8	32	9	0	1	4	9	9	104
合計	24	0	20	4	17	32	11	0	1	8	42	9	168

IV. 大会開催事業

1. 国内大会開催事業

競技力の向上、競技の普及・振興、生涯スポーツの振興発展ため、次の大会を開催した。

- ① 大会名：第64回全日本学生個人選手権大会・第30回全日本女子学生選手権大会  
期日：平成30年4月27日～29日  
会場：大阪府羽曳野市 羽曳野コロセアム  
内容：参加者 男子120名 女子49名

【新記録樹立】 大会新記録：19

最優秀選手賞 女子 48kg級 高橋いぶき（金沢学院大学）  
優秀選手賞 男子 77kg級 原 勇輝（中央大学）

- ② 大会名：第78回全日本選手権大会・第32回全日本女子選手権大会  
期日：平成30年5月25日～27日  
会場：石川県金沢市 いしかわ総合スポーツセンター  
内容：参加者 男子70名 女子76名 計146名

【新記録樹立】

日本新	女子 58kg級	安藤美希子	C & J	127kg	T 222kg
	男子 69kg級	宮本昌典	S	151kg	
	男子 77kg級	笠井武広	C & J	187kg	T 331kg
	男子 85kg級	山本俊樹	C & J	206kg	T 361kg
	男子 105kg級	田中太郎	S	176kg	
大学新	男子 69kg級	宮本昌典	S	151kg	
大会新	10				

- ③ 大会名：第20回全国高等学校女子選手権大会  
期日：平成30年7月14日～16日  
会場：群馬県前橋市 ヤマト市民体育館前橋

内 容：参加者 205名

団体成績	第1位	飯田高校	57点
	第2位	埼玉栄高校	52点
	第3位	加悦谷高校	48点
	第4位	新居浜南高校	47点
	第5位	前橋育英高校	42点
	第6位	香川中央高校	42点

【新記録樹立】

日本高校新記録 75kg級 山崎晴子 (新居浜南高校) T 199kg  
大会新記録 9

④ 大会名：第65回全国高等学校選手権大会

期 日：平成30年8月2日～6日

会 場：三重県亀山市 西野運動公園体育館

内 容：参加校 141校 参加者 (398名)

団体成績	第1位	金沢学院高校	64点	第5位	高萩清松高校	40点
	第2位	飯田高校	51点	第6位	柴田高校	40点
	第3位	宮城県農業高校	45点	第7位	尼崎工業	37点
	第4位	新居浜工業高校	45点	第8位	吉田高校	31点

⑤ 大会名：第36回全日本マスターズ選手権大会

期 日：平成30年7月27日～29日

会 場：和歌山県和歌山市 和歌山県立体育館

内 容：男子187名 女子17名 参加

⑥ 大会名：第32回全国男子中学生選手権大会・第17回全国女子中学生選手権大会

期 日：平成30年8月18日・19日

会 場：兵庫県尼崎市 尼崎市記念公園ベイコム総合体育館

内 容：参加者 男子64名 女子51名

【新記録樹立】

中学新 85kg級 西川勝之 (西小倉中学校) S 109kg C&J 126kg T 235kg  
" 94kg級 比嘉 力 (大宮中学校) S 100kg  
大会新 19

⑦ 大会名：第73回国民体育大会

期 日：平成30年10月4日～8日

会 場：福井県小浜市 小浜市民体育館

内 容：参加数 成年男子160名、少年男子137名

女子 32名

天皇杯	第1位	兵庫県	101点	皇后杯	第1位	沖縄県	34点
	第2位	福井県	97点		第2位	千葉県	32点
	第3位	香川県	94点		第3位	兵庫県	20点
	第4位	沖縄県	90点		第4位	香川県	20点
	第5位	山梨県	87点		第5位	茨城県	16点
	第6位	三重県	75点		第6位	三重県	15点
	第7位	東京都	74点		第7位	群馬県	13点
	第8位	岡山県	67点		第8位	福井県	12点

【新記録樹立】

日本新 男子 53kg級 佐野 優図 (千葉県 日本体育大学・職) S 107kg  
" 男子 85kg級 木下 竜之 (福井県 県体育協会) S 159kg  
" 男子 94kg級 山本 俊樹 (兵庫県 ALSOK) S 162kg  
" 女子 58kg級 安藤美希子 (千葉県 株・キュアリアス) S 100kg  
" 安藤美希子 (千葉県 株・キュアリアス) T 223kg  
【大学新】 男子 77kg級 原 勇輝 (徳島県 中央大学) C&J 182kg

〃	〃	宮本 昌典 (沖縄県 東京国際大学)	C & J 181kg
【高校新】	男子 69kg級	佐藤康太郎 (宮城県 県農業高校)	S 133kg
〃	〃	佐藤康太郎 (宮城県 県農業高校)	C & J 166kg
〃	〃	佐藤康太郎 (宮城県 県農業高校)	T 296kg

⑧ 大会名：第63回全日本学生新人選手権大会

期 日：平成30年10月19日～21日

会 場：埼玉県上尾市 埼玉県スポーツ総合センター体育館

内 容：参加者 男子87名 女子22名

⑨ 大会名：文部科学大臣杯第64回全日本大学対抗選手権大会2部

文部科学大臣杯第19回全日本大学対抗女子選手権大会2部

期 日：平成30年11月2日～4日

会 場：大阪府羽曳野市 羽曳野コロセアム

内 容：参加数 男子(20大学、120名) 女子(10大学、27名)

団体成績

「男子」	第1位 日本体育大学	162点	第5位 拓殖大学	56点
	第2位 名古屋産業大学	143点	第6位 びわこ成蹊大学	53点
	第3位 近畿大学	92点	第7位 仙台大学	46点
	第4位 立命館大学	67点	第8位 関西大学	44点
「女子」	第1位 立命館大学	69点	第5位 立教大学	23点
	第2位 名古屋産業大学	62点	第6位 関西大学	13点
	第3位 びわこ成蹊大学	56点	第7位 兵庫大学	9点
	第4位 仙台大学	44点	第8位 中京大学	6点

⑩ 大会名：内閣総理大臣杯第55回全日本社会人選手権大会

レディースカップ第10回全日本女子選抜選手権大会

期 日：平成30年11月21日～25日

会 場：茨城県高萩市 高萩文化会館

内 容：参加数(150名)

女子団体成績

「一般の部」

第1位 金沢学院大学A	35点
第2位 早稲田大学B	22点
第3位 金沢学院大学B	20点
第4位 日本体育大学	20点
第5位 東京国際大学	18点
第6位 早稲田大学A	17点

「高校の部」

第1位 埼玉栄高校	24点
第2位 前橋育英	20点
第3位 飯田高校	19点
第4位 新居浜南高校	17点
第5位 東亜学園高校	16点
第6位 加悦谷高校	15点

最優秀選手

一般の部 48kg級	高橋いぶき (岐阜県 金沢学院大学)
高校の部 53kg級	原 沙織 (群馬県 前橋育英高校)

新記録

男子団体成績

「全日本社会人選手権大会」

第1位 警視庁	102点
第2位 自衛隊体育学校	79点
第3位 チームめじろん	67点

「部門：地域スポーツクラブ」

第1位 チームめじろん	67点
第2位 Rock Eagles Iwata	59点
第3位 兵庫 KGDR	57点

「部門：官公庁等チーム」

第1位 警視庁	102点
第2位 自衛隊体育学校	79点
第3位 大阪府警	41点

「部門：企業チーム」

第1位 ALSOK	34点
第2位 トヨタ自動車(株)	24点
第3位 (株)オーイング	19点

文部科学大臣賞 96kg級 山本俊樹 (東京都 ALSOK)

⑪ 大会名：文部科学大臣杯第64回全日本大学対抗選手権大会1部

文部科学大臣杯第19回全日本大学対抗女子選手権大会1部

期 日：平成30年12月14日～12月16日  
 会 場：埼玉県上尾市 埼玉県スポーツ総合センター体育館  
 内 容：参加数（男子：10大学 79名、女子：13大学 35名）

団体成績 「男子」		「女子」	
第1位	日本大学 149点	第1位	金沢学院大学 70点
第2位	東京国際大学 124点	第1位	早稲田大学 64点
第3位	九州国際大学 117点	第3位	平成国際大学 57点
第4位	法政大学 108点	第4位	日本体育大学 51点
第5位	中央大学 90点	第4位	東京国際大学 50点
第6位	早稲田大学 79点	第6位	九州国際大学 45点
第7位	金沢学院大学 58点		
第8位	明治大学 53点		
第9位	大阪商業大学 51点		
第10位	平成国際大学 26点		

【男子新記録樹立】

日本新	77kg級	宮本昌典（東京国際大学）	スナッチ	155kg	C&ジャーク	188kg
		”	トータル	333kg	338kg	343kg
大学新	77kg級	宮本昌典（東京国際大学）	スナッチ	150kg	155kg	
		”	C&ジャーク	183kg	188kg	
		”	トータル	333kg	338kg	343kg

【女子新記録樹立】

大学新	90kg級	関根萌莉（平成国際大学）	C&ジャーク	121kg
-----	-------	--------------	--------	-------

⑫ 大会名：第15回全日本学生選抜大会

期 日：平成31年3月7日・8日  
 会 場：埼玉県上尾市 埼玉県スポーツ総合センター体育館  
 内 容：参加数（男子28名、女子25名）

最優秀選手（女子 64kg級 山本真鼓 名古屋産業大学）  
 優秀選手（男子 73kg級 山根大地 日本大学）

【女子新記録樹立】

大学新	64kg級	山本真鼓（名古屋産業大学）	C & J	117kg	T 207kg
	81kg級	知念ひめの（平成国際大学）	C & J	123kg	

⑬ 大会名：JOCジュニアオリンピックカップ第39回全日本ジュニア選手権大会

期 日：平成31年3月8日～3月10日  
 会 場：埼玉県上尾市 埼玉県スポーツ総合センター体育館  
 内 容：参加数（男子116名、女子61名）

最優秀選手（男子 69kg級 佐藤康太郎 宮城県農業高校）  
 ”（女子 58kg級 大湾ゆみか 豊見城南高校）

【男子新記録樹立】

中学新	96kg級	比嘉 力（大宮中学校）	S 103kg	106kg	T 226kg	230kg
高校新	55kg級	山口 優人（新居浜工業高校）	S 102kg			
	73kg級	佐藤康太郎（宮城県農業高校）	S 131kg	C&J 161kg	T 292kg	

【女子新記録樹立】

中学新	45kg級	川崎菜々紗	S 62kg	64kg	C&J 77kg	79kg	81kg
			T 141kg	143kg	145kg		
	49kg級	比嘉 成	C&J 85kg				
	71kg級	瀬川 瑠奈	S 80kg	83kg	C&J 98kg	102kg	105kg
			T 181kg	185kg	188kg		
高校新	71kg級	吉武 温子	S 89kg				

⑭ 大会名：第34回全国高等学校選抜大会

期 日：平成31年3月23日～3月26日  
 会 場：石川県金沢市 金沢市総合体育館

内 容：参加数（男子96名、女子76名）

最優秀選手 男子 61kg級 大西裕也（兵庫県 尼崎工業高校2年）  
" 女子 71kg級 田中美奈（香川県 香川中央高校2年）

## V. 会務

本会の目的達成及び業務を達成するため、次の会議を開催する。

### (1) 社員総会の開催

#### ① 平成30年度 定時社員総会

- ・ 期 日 平成30年6月24日（日）
- ・ 場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室 2
- ・ 議 題 (1)平成29年度事業報告及び決算報告  
(2)平成30年度1次補正予算案

#### ② 平成30年度 臨時社員総会

- ・ 期 日 平成31年3月16日（土）
- ・ 場 所 上野精養軒会議室
- ・ 議 題 (1)平成31年度事業計画案及び予算案  
(2)平成31・32年度役員選任方法について

### (2) 理事会の開催

#### ① 第1回理事会

- ・ 期 日 平成30年6月 9日（土）
- ・ 場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室 2
- ・ 議 題 (1)平成30年度定時社員総会議事内容について  
ア)平成29年度事業報告及び決算報告  
イ)平成30年度1次補正予算案  
(2)規程の追加・変更  
(肖像権に関すること、報奨金に関すること、固定資産金額に関すること)  
(3)国際審判員の推薦について  
(4)公認審判員の認定について

#### ② 第2回理事会

- ・ 期 日 平成30年9月15日（土）
- ・ 場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室 1
- ・ 議 題 (1)平成29年度借入金の返済について  
(2)国内における新階級実施時期について  
(3)2020東京オリンピック実行委員会立ち上げについて  
(4)新規賛助会員について  
(5)事務局長の推薦について  
(6)世界選手権大会記者発表及び壮行会について  
(7)業務執行理事より  
(8)新規賛助会員申し込みについて

#### ③ 臨時理事会

- ・ 期 日 平成30年10月28日（日）
- ・ 場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室 4
- ・ 議 題 ・三宅義行会長のパワハラ疑惑について

#### ④ 第3回理事会

- ・ 期 日 平成30年12月8日（土）
- ・ 場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室 4
- ・ 議 題 (1)2019・2020年度役員選任方法について  
(2)2020東京オリンピックテストイベント大会開催について  
(3)新規規程の創設と改案について  
(4)2019・2020日本スポーツ協会理事・評議委員の推薦について  
(5)財政基盤強化に向けた事業計画について

(6) 各種委員会より

⑤ 第4回理事会

- ・ 期 日 平成31年3月16日(土)
- ・ 場 所 上野精養軒会議室
- ・ 議 題 (1)平成31年度事業計画案と予算案について  
(2)規程の創設と改案について  
(3)日本オリンピック委員会理事・評議委員の推薦について  
(4)JWAウエイトワークアウト事業実施に伴うNSCAとの協定について  
(5)公認審判員の認定について  
(6)全国大会の審判編成について  
(7)古川令治常務理事の対応について

VI. 財政の確立

各種事業の推進に、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本スポーツ協会、スポーツ庁、公益財団法人ミズノスポーツ振興財団等に対し、助成金・委託金・補助金等の要望・申請を行い、本会の事業実施への充当財源に努めた。

財政基盤確立のため、定款に基づく賛助会員の募集案内を行った。また、公益法人認定後は、本法人が免税募金を主体的に実施できることから、加盟団体及び関係者に募金を呼び掛けた。昨年に続き、協賛企業等に国内大会開催における大会広告等を依頼し支援していただいた。

VII. 2020年に向けての計画及び2024年・2028年に向けて

(1) 選手強化計画

- ① あと1年後に迫った2020東京オリンピック対策特別強化プランに基づく強化を行った。
  - ・ 2018年11月世界選手権大会以降の東京オリンピック出場資格獲得
  - ・ 2020年の東京オリンピック大会の出場目標人数の設定  
女子：最大参加枠4名獲得 男子：最大参加枠4名獲得
  - ・ 2020年の東京オリンピック大会の目標  
女子：複数メダル獲得 男子：メダル獲得 全員入賞
- ② 5年後の2024年パリ、9年後の2028年ロサンゼルスオリンピック大会に向けて、現中学生、高校生の育成強化を行った。
- ③ 今後PDC Aサイクルの確認に基づく強化の推進していく。
- ④ 指導者(コーチ1)の育成を行っているが、継続していく。

(2) 競技の普及振興対策

- ① 5000人対策プロジェクト設置
  - ・ 登録選手数(現在：選手のみ3500人)を1500人増やし5000人とする(役員を含めると6000人の登録者数を目指す)
  - ・ 競技の露出の増大を図る
  - ・ メディアとタイアップする
  - ・ 小学生の大会を支援する
  - ・ 全国規模の中学生の大会を増設する
  - ・ 他の競技との連携を図る

(3) 国際発信力、国際大会運営能力の向上

- ① AWF役員ポストの確保
  - ・ 2019年アジアウエイトリフティング連盟選挙にて、理事・各委員会のポスト確保のため、ロビー活動を行った。
- ② 世界・アジアの各選手権大会及び国際総合大会へのテクニカルオフィシャルの派遣を積極的に行った。また、国際大会運営能力技術を身につけた。
- ③ 2019年7月テストイベント大会の開催(国際大会の日本開催)のため、スポーツマネージャーの活用及び東京オリンピック組織委員会の増員があった。

(4) 組織運営（ガバナンス、コンプライアンスの向上）

- ① 2020東京オリンピックに向けて事務局の仕事量増大につき職員の増員をした。
- ② 理事・職員に対しコンプライアンスマニュアルに基づく啓発を行った。
- ③（仮称）アスリート委員会又はアントラージュ委員会設置の検討し、次年度に新設する。

(5) 国際大会の開催準備

2016年アジアジュニア・ユース大会、2017年世界ジュニア大会開催のノウハウを活かし、2019年に開催する下記東京オリンピックテストイベント大会の開催準備に入った。競技力の向上、国際大会運営能力の向上及び競技の普及振興を目的としている。

会期：平成31年7月6日・7日

場所：東京都 東京国際フォーラム





平成30年度公益社団法人日本ウエイトリフティング協会決算に関する書類

(1) 貸借対照表

平成31年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	増 減
	円	円	円
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	864,031	16,938,416	△ 16,074,385
貯藏品	422,992	452,354	△ 29,362
未収金	49,237,314	138,387,621	△ 89,150,307
前払費用	0	0	0
流動資産合計	50,524,337	155,778,391	△ 105,254,054
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	7,000,652	7,000,652	0
基本財産合計	7,000,652	7,000,652	0
(2) 特定資産			
選手強化特定資産	0	5,452,217	△ 5,452,217
選手強化交付金事業積立資金	24,000,000	0	24,000,000
特定資産合計	24,000,000	5,452,217	18,547,783
(3) その他の固定資産			
什器備品	618,939	10	618,929
ソフトウェア	1,556,010	1,586,900	△ 30,890
出資金	100,000	100,000	0
長期前払費用	0	0	0
その他の固定資産合計	2,274,949	1,686,910	588,039
固定資産合計	33,275,601	14,139,779	19,135,822
資産合計	83,799,938	169,918,170	△ 86,118,232
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
短期借入金	0	76,000,000	△ 76,000,000
未払金	5,583,213	78,553,559	△ 72,970,346
前受金	347,805	0	347,805
預り金	837,818	182,525	655,293
流動負債合計	6,768,836	154,736,084	△ 147,967,248
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	6,768,836	154,736,084	△ 147,967,248
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
補助金等			
日本オリンピック委員会交付金	0	5,452,217	△ 5,452,217
指定正味財産合計	0	5,452,217	△ 5,452,217
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 5,452,217 )	( △ 5,452,217 )
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	( 24,000,000 )	( 0 )	( 24,000,000 )
正味財産合計	77,031,102	15,182,086	61,849,016
負債及び正味財産合計	83,799,938	169,918,170	△ 86,118,232

## (2) 正味財産増減計算書

平成30年4月1日 から 平成31年3月31日 まで

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	2,214	1,078	1,136
受取会費			
正会員受取会費	2,400,000	2,400,000	0
賛助会員受取会費	1,390,000	1,380,000	10,000
その他の受取会費			
受取登録料			
受取役員登録料			
役員登録料	3,776,000	5,000,000	△ 1,224,000
役員兼選手登録料	6,584,000	5,592,000	992,000
受取選手登録料			
一般選手登録料	2,530,000	2,345,000	185,000
大学生選手登録料	1,824,000	1,692,000	132,000
高校生選手登録料	4,138,000	4,358,000	△ 220,000
中学生選手登録料	150,000	155,000	△ 5,000
小学生選手登録料	53,000	59,000	△ 6,000
事業収益			
認定料			
器具認定料	1,138,500	777,000	361,500
審判認定料	704,000	664,000	40,000
審判更新認定料	219,000	3,267,000	△ 3,048,000
競技規則集等販売料	35,000	1,090,000	△ 1,055,000
審判ハット販売料	10,000	74,500	△ 64,500
受取負担金等			
受取出版物負担金	480,000	480,000	0
受取審判講習会負担金	48,000	626,000	△ 578,000
受取審判受験料	250,000	210,000	40,000
80年史負担金	0	3,430,000	△ 3,430,000
大会合宿参加者負担金	2,475,000	2,390,000	85,000
世界ジュニア選手権大会入場料	0	365,000	△ 365,000
世界ジュニア選手権大会参加者	0	73,532,695	△ 73,532,695
壮行会等受取会費	60,000	80,000	△ 20,000
受取補助金等			
日本オリンピック委員会補助金	95,661,470	98,370,880	△ 2,709,410
日本オリンピック委員会交付金	37,582,467	404,508	37,177,959
スポーツ振興基金助成金	4,866,000	2,874,000	1,992,000
開催市助成金	645,000	10,000,000	△ 9,355,000
スポーツ振興くじ助成金	17,569,000	64,171,000	△ 46,602,000
日本スポーツ協会交付金	755,875	711,000	44,875
ミズノスポーツ振興財団助成金	1,500,000	2,500,000	△ 1,000,000
国際ウエイトリフティング連盟助成金	0	915,360	△ 915,360
受取委託金等			
日本スポーツ協会委託金	517,366	1,186,088	△ 668,722
国体実行委員会委託金	1,129,500	1,604,420	△ 474,920
国際情報戦略強化事業委託金	0	5,438,430	△ 5,438,430
受取補助金振替額	5,452,217	43,031,776	△ 37,579,559
受取寄付金			
受取免税募金	3,260,000	13,350,000	△ 10,090,000
受取協賛金			
スポンサー協賛金	43,884,000	38,912,000	4,972,000
その他協賛金	474,374	438,213	36,161
受取協力金			

科 目	当年度	前年度	増減
協力金	648,000	788,400	△ 140,400
雑収益			
受取利息	2,533	737	1,796
受取広告協賛金	1,650,000	16,280,000	△ 14,630,000
雑収益	262,433	365,035	△ 102,602
受取配当金	821	0	821
経常収益計	244,127,770	411,310,120	△ 167,182,350
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	8,672,210	11,893,274	△ 3,221,064
法定福利費	1,416,741	822,381	594,360
通勤手当	523,323	587,795	△ 64,472
旅費交通費	22,087,869	23,069,073	△ 981,204
旅行雑費	1,216,000	1,394,800	△ 178,800
渡航費	27,700,260	20,475,269	7,224,991
滞在費	20,870,647	16,323,616	4,547,031
宿泊費	28,393,759	117,511,600	△ 89,117,841
雑役務費	13,006,075	68,464,132	△ 55,458,057
印刷製本費	2,887,702	3,737,034	△ 849,332
通信運搬費	1,008,828	904,326	104,502
会議費	8,000	161,700	△ 153,700
交流費	0	140,386	△ 140,386
検査料	6,136,269	0	6,136,269
保険料	1,135,960	1,167,019	△ 31,059
消耗品費	2,403,875	28,253,284	△ 25,849,409
調査研究費	550,854	539,696	11,158
使用料及び賃借料	3,601,357	46,852,050	△ 43,250,693
使用料及び賃借料（共通）	3,668,207	3,328,508	339,699
諸謝金	9,024,500	15,298,571	△ 6,274,071
報償費	150,000	0	150,000
委託費	1,129,500	7,374,878	△ 6,245,378
助成金	4,500,000	2,900,000	1,600,000
負担金	2,650,127	3,443,514	△ 793,387
顕彰費	997,440	1,220,904	△ 223,464
大会開催費	4,775,200	17,131,376	△ 12,356,176
支払手数料	355,944	0	355,944
支払手数料（共通）	1,170,457	761,344	409,113
減価償却費	26,910	0	26,910
雑費	1	0	1
備品費	0	1,281,125	△ 1,281,125
支払利息	564,065	1,054,825	△ 490,760
80周年記念事業	0	4,903,634	△ 4,903,634
IWFディベロップメントプログラム	0	1,012,928	△ 1,012,928
スポーツ用具費	26,664	0	26,664
寄附金	75,900	0	75,900
管理費			
給与手当	1,063,578	1,432,586	△ 369,008
法定福利費	157,415	91,375	66,040
退職給付費用	0	625,000	△ 625,000
通勤手当	58,147	65,310	△ 7,163
旅費交通費	527,710	569,357	△ 41,647
印刷製本費	212,238	302,459	△ 90,221
通信運搬費	807,424	998,333	△ 190,909
会議費	38,000	168,000	△ 130,000
消耗品費	256,557	128,227	128,330
減価償却費	668,090	680,100	△ 12,010
使用料及び賃借料（共通）	651,161	590,859	60,302
租税公課	12,000	78,700	△ 66,700

科 目	当年度	前年度	増減
支払手数料（共通）	1,430,557	3,075,928	△ 1,645,371
委託費	0	235,872	△ 235,872
雑費	209,016	193,889	15,127
経常費用計	176,826,537	411,245,037	△ 234,418,500
当期経常増減額	67,301,233	65,083	67,236,150
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失			
為替差損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	67,301,233	65,083	67,236,150
一般正味財産期首残高	9,729,869	9,664,786	65,083
一般正味財産期末残高	77,031,102	9,729,869	67,301,233
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
日本オリンピック委員会交付金	0	36,637,000	△ 36,637,000
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 5,452,217	△ 43,031,776	37,579,559
当期指定正味財産増減額	△ 5,452,217	△ 6,394,776	942,559
指定正味財産期首残高	5,452,217	11,846,993	△ 6,394,776
指定正味財産期末残高	0	5,452,217	△ 5,452,217
III 正味財産期末残高	77,031,102	15,182,086	61,849,016

## (3) 正味財産増減計算書 内訳表

平成30年4月1日 から 平成31年3月31日 まで

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合 計
	公1 ウエイトリフティング 競技の普及・振興事業				
	円		円	円	円
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用収入			2,214		2,214
受取会費					
正会員受取会費	1,200,000		1,200,000		2,400,000
賛助会員受取会費	1,390,000				1,390,000
受取登録料					
受取役員登録料					
役員登録料	3,776,000				3,776,000
役員兼選手登録料	6,584,000				6,584,000
受取選手登録料					
一般選手登録料	2,530,000				2,530,000
大学生選手登録料	1,824,000				1,824,000
高校生選手登録料	4,138,000				4,138,000
中学生選手登録料	150,000				150,000
小学生選手登録料	53,000				53,000
事業収益					
認定料					
器具認定料	1,138,500				1,138,500
審判認定料	704,000				704,000
審判更新認定料	219,000				219,000
競技規則集等販売料	35,000				35,000
審判ﾊﾞｯｼﾞ販売料	10,000				10,000
受取負担金等					
受取出版物負担金	480,000				480,000
受取審判講習会負担金	48,000				48,000
受取審判受験料	250,000				250,000
大会合宿参加者負担金	2,475,000				2,475,000
壮行会等受取会費	60,000				60,000
受取補助金等					
日本オリンピック委員会補助金	95,661,470				95,661,470
日本オリンピック委員会交付金	37,582,467				37,582,467
スポーツ振興基金助成金	4,866,000				4,866,000
開催市助成金	645,000				645,000
スポーツ振興くじ助成金	17,569,000				17,569,000
日本スポーツ協会交付金	755,875				755,875
ミズノスポーツ振興財団助成金	1,500,000				1,500,000
受取委託金等					
日本スポーツ協会委託金	517,366				517,366
国体実行委員会委託金	1,129,500				1,129,500
受取補助金振替額	5,452,217				5,452,217
受取寄付金					
受取免税募金	3,260,000				3,260,000
受取協賛金					
スポンサー協賛金	38,884,000		5,000,000		43,884,000
その他協賛金	474,374				474,374
受取協力金					
協力金	648,000				648,000
雑収益					
受取利息	2,533				2,533
受取広告協賛金	1,650,000				1,650,000
雑収益	262,433				262,433
受取配当金	821				821
経常収益計	237,925,556		6,202,214		244,127,770

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合 計
	公1 ウエイトリフティング 競技の普及・振興事業				
(2) 経常費用					
事業費					
給与手当	8,672,210				8,672,210
法定福利費	1,416,741				1,416,741
通勤手当	523,323				523,323
旅費交通費	22,087,869				22,087,869
旅行雑費	1,216,000				1,216,000
渡航費	27,700,260				27,700,260
滞在費	20,870,647				20,870,647
宿泊費	28,393,759				28,393,759
雑役務費	13,006,075				13,006,075
印刷製本費	2,887,702				2,887,702
通信運搬費	1,008,828				1,008,828
会議費	8,000				8,000
検査料	6,136,269				6,136,269
保険料	1,135,960				1,135,960
消耗品費	2,403,875				2,403,875
調査研究費	550,854				550,854
使用料及び賃借料	3,601,357				3,601,357
使用料及び賃借料（共通）	3,668,207				3,668,207
諸謝金	9,024,500				9,024,500
委託費	1,129,500				1,129,500
助成金	4,500,000				4,500,000
負担金	2,650,127				2,650,127
顕彰費	997,440				997,440
大会開催費	4,775,200				4,775,200
支払手数料	355,944				355,944
支払手数料（共通）	1,170,457				1,170,457
減価償却費	26,910				26,910
雑費	1				1
支払利息	564,065				564,065
スポーツ用具費	26,664				26,664
寄付金	75,900				75,900
管理費					
給与手当			1,063,578		1,063,578
法定福利費			157,415		157,415
通勤手当			58,147		58,147
旅費交通費			527,710		527,710
印刷製本費			212,238		212,238
通信運搬費			807,424		807,424
会議費			38,000		38,000
消耗品費			256,557		256,557
減価償却費			668,090		668,090
使用料及び賃借料（共通）			651,161		651,161
租税公課			12,000		12,000
支払手数料（共通）			1,430,557		1,430,557
雑費			209,016		209,016
経常費用計	170,734,644		6,091,893		176,826,537
当期経常増減額	67,190,912		110,321		67,301,233
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0		0		0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0		0		0
当期経常外増減額	0		0		0
当期一般正味財産増減額	67,190,912		110,321		67,301,233
一般正味財産期首残高					9,729,869
一般正味財産期末残高					77,031,102

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
	公1 ウエイトリフティング 競技の普及・振興事業			
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等				
日本オリンピック委員会交付金	0	0		0
一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	△ 5,452,217	0		△ 5,452,217
当期指定正味財産増減額	△ 5,452,217	0		△ 5,452,217
指定正味財産期首残高				5,452,217
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高				77,031,102

(4) 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 平成27年度から「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正、内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

平成19年3月31日以前は旧定額法によっている。平成19年4月1日以降は定額法によっている。

②無形固定資産

ソフトウェアについては、利用期間(5年)に基づく定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の経理処理は、税込方法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	7,000,652	0	0	7,000,652
小計	7,000,652	0	0	7,000,652
特定資産				
選手強化特定資産	5,452,217	0	5,452,217	0
選手強化交付金事業積立資金	0	24,000,000	0	24,000,000
小計	5,452,217	24,000,000	5,452,217	24,000,000
合計	12,452,869	24,000,000	5,452,217	31,000,652

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	7,000,652	(0)	(7,000,652)	(0)
小計	7,000,652	(0)	(7,000,652)	(0)
特定資産				
選手強化交付金事業積立資金	24,000,000	(0)	(24,000,000)	(0)
小計	24,000,000	(0)	(24,000,000)	(0)
合計	31,000,652	(0)	(31,000,652)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
什器備品	2,122,295	1,503,356	618,939
ソフトウェア	3,400,500	1,844,490	1,556,010
合計	5,522,795	3,347,846	2,174,949

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし



6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
交付金						
指導者育成	日本スポーツ協会	0	755,875	755,875	0	指定正味財産
選手強化関連	日本オリンピック委員会	5,452,217	0	5,452,217	0	
ジュニアオリンピック人金交付金	日本オリンピック委員会	0	200,000	200,000	0	
選手強化関連	日本オリンピック委員会	0	37,382,467	37,382,467	0	
補助金						
選手強化事業	日本オリンピック委員会	0	95,661,470	95,661,470	0	
委託金						
国体役員派遣	国体実行委員会	0	1,129,500	1,129,500	0	
講習会等開催	日本スポーツ協会	0	517,366	517,366	0	
助成金						
競技会開催	日本スポーツ振興センター	0	4,866,000	4,866,000	0	
競技会開催	高知県、石川県、金沢市	0	645,000	645,000	0	
選手発掘育成	日本スポーツ振興センター	0	9,906,000	9,906,000	0	
アンチドーピング活動	日本スポーツ振興センター	0	5,699,000	5,699,000	0	
スポーツ情報提供	日本スポーツ振興センター	0	1,360,000	1,360,000	0	
ドーピング防止啓発	日本スポーツ振興センター	0	604,000	604,000	0	
選手強化事業	ミズノスポーツ振興財団	0	1,000,000	1,000,000	0	
調査研究事業	ミズノスポーツ振興財団	0	500,000	500,000	0	
合 計		5,452,217	160,226,678	165,678,895	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高
経常収益への振替額	
当事業年度での目的支出	5,452,217
合 計	5,452,217

8. 引当金の明細

引当金の内訳並びに、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第33条に規定する「重要な固定資産の明細」及び「引当金の明細」は財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書は作成しない。

## (5) 財産目録

(単位：円)

平成31年3月31日現在

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	24,042
普通預金	みずほ銀行渋谷支店 No. 0250103 みずほ銀行渋谷支店 No. 1987082 みずほ銀行渋谷支店 No. 3316355 みずほ銀行渋谷支店 No. 9104554 ゆうちょ銀行 00140-4-129576 東京信用金庫新座支店 No.4105549	運転資金として	839,989
		<現金預金計>	864,031
貯蔵品	バッチ、審判手帳、審判手帳カバー、認定シール	公益目的事業の用に供する。	422,992
		<貯蔵品計>	422,992
未収金	一般会計 JOC会計 スポーツ振興くじ 選手強化キャンペーン	公益目的事業の収益である。	157,000
			41,854,025
			7,207,000
			19,289
		<未収金計>	49,237,314
流動資産合計			50,524,337
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	みずほ銀行渋谷支店 No. 3613503	運用益を法人管理の財源としている。	7,000,652
		<基本財産計>	7,000,652
特定資産			
選手強化特定資産	みずほ銀行渋谷支店 No. 0250103 みずほ銀行渋谷支店 No. 1987082	JOC交付金として受け入れた選手強化資金であり、指定正味財産として管理している。	0
選手強化交付金等 累積立資金	みずほ銀行渋谷支店 No. 0250103 みずほ銀行渋谷支店 No. 1987082	公益目的事業の特定費用準備資金として管理している。	24,000,000
		<特定資産計>	24,000,000
その他固定 資産			
什器備品	パソコンなど、合計10点		618,939
ソフトウェア	登録管理システムなどソフトウェア2点		1,556,010
出資金	東京信用金庫		100,000
		<その他の固定資産計>	2,274,949
固定資産合計			33,275,601
資産合計			83,799,938
(流動負債)			
未払金	JOC等に対する未払額	公益目的事業の費用である。	5,583,213
		<未払金計>	5,583,213
前受金	移転補償金		347,805
		<前受金計>	347,805
預り金	源泉所得税(給与・報酬) 源泉所得税(謝金) 財形 講習会受講料	職員等他からの預り分 指導者等他からの預り金	△ 8,397
			125,575
			10,000
			710,640
		<預り金計>	837,818
流動負債合計			6,768,836
(固定負債)			
固定負債合計			0
負債合計			6,768,836
正味財産			77,031,102

# 監事報告書

令和元年 6月4日

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会  
会長 三宅 義行 殿


公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

監事 池永 知樹 

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

監事 花見 修 

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

監事 米田 進 

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行及び会計の監査を行いました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

理事の業務執行については、理事会に出席し会長及び業務執行理事等から業務状況の報告を受けるとともに、業務執行にかかる重要な関係書類の閲覧を行い業務及び財産の状況等を調査しました。

また、当該年度の計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録にかかる会計帳簿、関係書類についても閲覧、精査を行いました。

## 2. 監査意見

- (1) 事業報告の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 理事の職務執行に関する不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産の状態及び正味財産の増減の状況をすべての重要な点において適正に示していると認めます。

# 監査報告書

令和元年6月5日

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会  
会長 三宅 義行 殿

公認会計士 脇田 伸秀



私は、公益社団法人日本ウエイトリフティング協会に平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度の下記の財務諸表及び収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

## 記

### I 財務諸表

1. 一般会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
2. 日本オリンピック委員会補助事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
3. スポーツ振興基金補助事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
4. スポーツ振興くじ補助事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
5. 指導者育成事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
6. 選手強化キャンペーン会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
7. 貸借対照表総括表
8. 正味財産増減計算書総括表
9. 財産目録

### II 収支計算書

1. 一般会計の収支計算書
2. 日本オリンピック委員会補助事業会計の収支計算書
3. スポーツ振興基金補助事業会計の収支計算書
4. スポーツ振興くじ補助事業会計の収支計算書
5. 指導者育成事業会計の収支計算書
6. 選手強化キャンペーン会計の収支計算書
7. 収支計算書総括表

この財務諸表等の作成責任者は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積もりの評価を含め全体として財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠して、公益社団法人日本ウエイトリフティング協会の平成30年度末現在の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、公益法人日本ウエイトリフティング協会の平成30年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

【第2号議案】

令和元・2年度役員選任について

【第3号議案】

令和元・2年度名誉会員の選任について

【第4号議案】

定款変更（事務局新住所変更）について



【第2号議案】令和元・2年度役員改選について

提案：次の各地区ブロック、全日本学生連盟、全国高体連より推薦頂いた15名、5月19日に行われた学識経験理事選考委員会で推薦された理事7名と監事3名を社員総会へ推薦いたします。社員総会での承認をお願いいたします。

令和元・2年度日本協会役員候補名簿（案）

1	北海道ブロック	三上 正洋	51	新
2	東北ブロック：山形県	齋藤 隆	66	現
3	関東ブロック：埼玉県	三宅 義行	73	現
4	関東ブロック：埼玉県	加藤 智子	54	現
5	関東ブロック：山梨県	武井 多加志	60	現
6	関東ブロック：山梨県	小宮山 哲雄	58	現
7	関東ブロック：群馬県	舟喜 信生	61	現
8	東海ブロック：岐阜県	小栗 和成	54	現
9	北信越ブロック：石川県	菊田 三代治	66	現
10	近畿ブロック：兵庫県	島田 隆宏	56	現
11	中国ブロック：鳥取県	中嶋 政幸	66	現
12	四国ブロック：愛媛県	真鍋 和人	60	現
13	九州ブロック：福岡県	守 昌宏	60	現
14	学生連盟代表：	岡田 純一	51	現（学連副会長）
15	全国高体連代表：	青木 延明	44	現（専門部委員長）
16	推薦理事（学識経験者）	菊地 俊美	72	現（元日本大学教授 福島県会長）
17	〃	高野 剛	70	現（元県議会議員 山梨県会長）
18	〃	上治 丈太郎	72	現（元ミズノ株式会社副社長）
19	〃	平良 朝順	59	現（全日本学生連盟会長）
20	〃	知念 令子	54	現（大阪協会 理事）
21	〃	中嶋 耕平	51	現（JISS 外科医師）
22	〃	能瀬 さやか	40	新（東京大学附属病院 女性診療科・産科医師）
23	監事推薦	池永 知樹	51	現（弁護士：埼玉東部法律事務所）
24	〃	花見 修	68	現（税理士：花見税理事務所）
25	〃	米田 辿	71	現（事務局長経理経験者）

ブロック理事：北海道1、東北1、関東5、北信越1、東海1、近畿1、中国1、  
（13名） 四国1、九州1

傘下理事：全日本学生連盟1、全国高体連1  
（2名）

推薦理事：学識経験者、外部1  
（7名） 理事 計 22名（23名以内）

監事：弁護士、税理士、経理経験者  
（3名）

定数26名以内

【第3号議案】 令和元・2年度名誉会員選任について

提案：6月8日開催の第1回理事会で下記の元会長、元副会長、元専務理事、元常務理事、元理事・監事時の功績が評価され、名誉会員への推薦をいたしますので、総会での承認をお願いいたします。

記

名誉顧問 三宅 義信

顧 問 林 克也 小平 紀生 櫻井 勝利 中川 豊美

参 与 古庄 紀治 篠宮 稔 松尾 謙資

【第4号議案】 定款変更（事務局新住所変更）について

提案：事務局移転に伴い登記変更が必要となります。そして、総会での承認が必要となりますのでお願いいたします。

~~~~~下線部分の変更

|    |         |        |
|----|---------|--------|
| 現行 | 事務局登記場所 | 東京都渋谷区 |
|    |         | ↓      |
| 変更 | 〃       | 東京都新宿区 |